

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成 (右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 |
|---|---|---|--|---|
| | 通年研修 | 単発研修 | | |
| 1992年度 (平成4年度) 1993年 2月1日～ 1993年 3月31日 | 財団設立1993年2月1日 厚生省認可 登記 1993年2月1日 1993年2月2日 | | | ●事務所設立 主たる事務所:東京都新宿区新宿2-1-1 ラポートビビル803号 理事長 小此木啓吾 評議員 相田信男 乾吉佑 常務理事 島村三重子 牛島定信 大野裕 北山修 理事 櫻井英樹 岩崎徹也 辻洋一 狩野力八郎 福山勝 菊本治男 深津千賀子 衣笠隆幸 須田唯雄 監事 中田勇雄 滝口俊子 任期:1993年2月2日～1994年3月32日 助成事業選考委員 岩崎徹也 島村三重子 乾吉佑 馬場謙一 賀陽濟 事務局長 小熊謙次 |
| 1993年度 (平成5年度) 1993年 4月1日～ 1994年 3月31日 | 精神分析の技法について 7月より全9回 講師 狩野力八郎 参加人数:8名 対象関係論の臨床の研究 7月より全6回 講師 衣笠隆幸 参加人数:7名 | ・小寺記念精神分析研究財団設立を記念する学術集会 11月20日(土) 於:京王プラザホテル 外傷か幻想か—精神分析の根源的課題 記念講演 Ramon Ganzarain 岩崎徹也 牛島定信 西園昌久 狩野力八郎 齋藤久美子 参加人数:200名 ・精神療法の教育研修の集い 11月21日(日) 於:京王プラザホテル 精神分析・精神療法の教育研修の諸問題 講師 Ramon Ganzarain 参加人数:60名 ・対象関係論と集団精神療法 11月23日(祝・火) 於:津田ホール 講師 Ramon Ganzarain 主催 精神療法研究会(代表・鈴木純一) 後援 小寺記念精神分析研究財団 協賛 日本集団精神療法学会 | 研究助成 日本精神分析学会 日本精神分析学会第40回大会 教育研修セミナー開催 世界乳幼児精神保健学会 「乳幼児精神医学の集い」4回開催 (1993.6/24.9/2.10/28、1994.3/3) 第6回日本思春期青年期医学会 学会の多施設間共同研究実施準備 東京ウィニコット研究会 ウィニコット研究のセミナー 東北地区精神分析研究会 精神分析及び力動精神医学の理論と実践の研究 生田憲正 精神分析精神療法の実践的研究 国際交流 小寺記念精神分析研究財団設立を記念する学術集会 11月20日(土) 精神療法の教育研修の集い 11月21日(日) 対象関係論と集団精神療法 11月23日(祝・火) 第38回国際精神分析学会へ派遣 1993年7月25日～30日 アムステルダム | |
| 1994年度 (平成6年度) 1994年 4月1日～ 1995年 3月31日 | | ・世界乳幼児精神保健学会 WAIMH東京大会1994 4月8日(金)9日(土) 於:京王プラザホテル 講師 Bertrand Cramer Charles Zeanah Efrain Bleiberg Hanus Papousek Howard Osofsky Joy Osofsky Justin Call Peter Fonagy Robert Emde Serge Lebovici Tiffany Field 主催 WAIMH 東京大会(1994) 実行委員会・ 組織委員会 共催 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:350名 | 研究助成 International Society for the Study of the Personality Disorders 日本支部準備室 人格障害に関する研究と治療活動する国際学会アジア地区 準備室(1994年7月25日～30日) 心身相関に関するシンポジウム 心身相関に関するシンポジウムに関する国際活動 組織委員会 (1994年11月20日(土)21日(日)) 第7回日本思春期青年期医学会 日本思春期青年期研修会 慶應心理臨床セミナー 精神分析的な心理療法研修のアドバンスドコースにおけるスー パービジョン 日本精神分析学会教育研修委員 各地域における教育研修活動学会教育研修 会 広島精神分析セミナー 広島地区における教育研修活動 ホワイト精神分析セミナー 精神分析の組織的な訓練 千駄ヶ谷心理センター 開業精神療法における児童・心理療法についての研究 慶應義塾大学精神神経科教室 I FEEL Pictures日本版による教育困難の母親治療と育児 相談の研修 国際交流 世界乳幼児精神保健学会 WAIMH東京大会 4月8日(金)9日(土) | 理事長 小此木啓吾 評議員 相田信男 乾吉佑 常務理事 島村三重子 牛島定信 大野裕 北山修 理事 櫻井英樹 岩崎徹也 辻洋一 狩野力八郎 福山勝 菊本治男 深津千賀子 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 監事 中田勇雄 滝口俊子 任期:1994年4月1日～1996年3月32日 助成事業選考委員 (1994年設置) 岩崎徹也 島村三重子 乾吉佑 馬場謙一 賀陽濟 事務局長 小熊謙次 |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成 (右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | |
|-------------------|---|--|--|--|--|---|
| | 通年研修 | 単発研修 | 研究助成 | | | |
| 1995年度 (平成7年度) | 精神分析研究セミナー(新企画) 4月より全12回 於:津田ホール テーマ:精神分析の現在 司会 小此木啓吾 | | ・間主観的アプローチ 12月3日(日) 於:津田ホール コファートの自己心理学を越えて 講師 丸田俊彦 小此木啓吾 狩野力八郎 相田信男 深津千賀子 笹哲朗 白波瀬丈一郎 協賛:岩崎学術出版社 参加人数:50名 | | 牛島定信(ウィニコット研究会) Patrick Casement先生を招聘し研究会を開催 西園昌久 第39回国際精神分析学会総会の助成 (日本精神分析協会) | 理事長 小此木啓吾 評議員 相田信男 乾吉佑 牛島定信 大野裕 北山修 櫻井英樹 辻洋一 福山勝 深津千賀子 |
| | 1995年 4月1日～ | 講師 狩野力八郎 テーマ 心的表象論 | ・外傷性精神障害を学ぶ 1996年1月14日(日) 於:慶応病院新棟11階 大会議室 講師 岡野憲一郎 参加人数:74名 | 高野晶 心身症の精神分析的治療法 臨床例の検討会開催 笠原嘉 第4回国際青年期精神医学会の助成(1995年7月5日～8日) (日本思春期青年期医学会) | 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 狩野力八郎 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 | |
| 1996年 3月31日 | 藤山直樹 対象関係論の統合的理解オグデンの切り口 | 生地新 精神分析的治療法の理論 濱田庸子(WAIMH東京大会) Paulina Kernberg先生を招聘し乳幼児・児童分析セミナー開催(1995年11月開催) | | 助成事業選考委員 (1994年設置) 岩崎徹也 島村三重子 乾吉佑 馬場謙一 教育研修委員 (1995年4月1日設置) 狩野力八郎 小此木啓吾 島村三重子 牛島定信 岩崎徹也 藤山直樹 相田信男 事務局長 小熊謙次 事務所移転 1995年6月9日～2008年6月12日 主たる事務所:東京都渋谷区千駄ヶ谷1-20-1 パークアベニュー505号室 | | |
| | 北山修 日本語臨床の発展 | 鈴木龍 中村留貴子 心理療法とアセスメントのワークショップの実施 西園昌久(学術集會会長) 環太平洋精神科医会議第7回学術集會(10月24日～27日) 浅田護(広島精神分析セミナー) 精神分析的セミナーの開催 | | | 国際交流 第4回国際青年期精神医学会に出席 7月4日～11日(於:ギリシア アテネ市) | |
| | 衣笠隆幸 ローゼンフェルドとシュタイナーの病理的組織化 | | | | | |
| | 妙木浩之 ラングスと治療構造論 | | | | | |
| | 満岡義敏 プレディバルからエディバルへ | | | | | |
| | 平島奈津子 女性性の研究 | | | | | |
| | 岩崎徹也 Otto Kernberg公開セミナー パーソナリティ構造論 | | | | | |
| | 齋藤久美子 臨床と発達視点 マーラ、スターンから Fパインのマルチ・モデルへ | | | | | |
| | 岡野憲一郎 精神分析における外傷理論 | | | | | |
| | 妙木浩之 シェイファー転移論・物語論 | | | | | |
| | 山上千鶴子 メルツァーを語るユダヤ的知をめぐって 参加人数:74名 | | | | | |
| | 体験グループ・セミナー(新規企画) 9月より全6回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:21名 | | | | | |
| | | | 1995年6月～ ●日本精神分析協会事務局設置 | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的)及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | | | |
|----------------------------------|---|-------|---------------------------|--|--|---|--|--|--|
| | 通年研修 | | | 単発研修 | | 国際交流 | | | |
| 1996年度 (平成8年度) | 精神分析研究セミナー(第2期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:精神分析の現在 | | | ・メニングァー・セミナー外傷と人格障害・摂食障害 4月6日(土) 於:福岡大学セミナーハウス 7日(日) 於:野口英世記念会館 講師 Efrain Bleiberg Kathryn Zerbe 高尾岳久 村上健 後援 日本精神分析協会 日本精神分析学会 協力 カール・メニングァー精神医学学校日本同窓会 参加人数:福岡65名 東京135名 | | メニングァー・セミナー外傷と人格障害・摂食障害 4月6日(土)、7日(日) Patrick Mahony先生をお迎えして 4月20日(土)、21日(日) Anni Bergman先生をお迎えして 10月13日(日) 精神分析研究セミナー(Sander Abend) 11月10日(日) | | 理事長 小此木啓吾 評議員 相田信男 乾吉佑 常務理事 島村三重子 牛島定信 大野裕 北山修 理事 岩崎徹也 狩野力八郎 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 | |
| 1996年 4月1日～ 1997年 3月31日 | 講師 | 討論 | テーマ | ・P. Mahony先生をお迎えして 4月20日(土) 於:慶応病院新棟11階 大会議室 講師 Patrick Mahony 小此木啓吾 土居健郎 北山修 妙木浩之 共催 日本精神分析協会 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:52名 | | Michael Stone先生をお迎えして 11月23日(祝・土) 犯罪行動の精神分析 1997年1月12日(日) Elizabeth Bianchedi先生をお迎えして 1997年3月2日(日) | | 監事 中田勇雄 滝口俊子 任期:1996年4月1日～1998年3月31日 | |
| | 丸田俊彦 | 狩野力八郎 | 自己感・情緒・間主観性 | ・症例ドラマと思春期の臨床 4月21日(日) 於:慶応病院新棟11階 大会議室 講師 Patrick Mahony 土居健郎 小此木啓吾 北山修 相田信男 衣笠隆幸 牛島定信 中村留貴子 白波瀬丈一郎 乾吉佑 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:125名 | | 国際交流 精神分析的自己愛病理研究 担当:狩野力八郎 4月より月1回 於:財団会議室 参加人数10名 | | 助成事業選考委員 岩崎徹也 島村三重子 乾吉佑 馬場謙一 賀陽濟 | |
| | 藤山直樹 | 妙木浩之 | 移行のプロセスと心的空間論 | ・力動心身医学セミナー 基礎編 6月29日(土)30日(日) 於:三井海上別館ビル 心身医学臨床に役立つ精神力動的観点 講師 小此木啓吾 成田善弘 菊地孝則 岩崎徹也 中野弘一 久保木富房 大野裕 松波聖治 芝山幸久 村岡倫子 狩野力八郎 山岡昌之 高野晶 江花昭一 乾吉佑 共催 力動心身医学セミナー実行委員会 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:150名 | | 研究事業 精神分析概念に関する再検討研究会 目的:精神分析学の諸概念とその訳語について再検討し研究の要約を報告、意見交換を行う 7月より8回 於:財団研修室 | | 教育研修委員 狩野力八郎 北山修 小此木啓吾 大野裕 島村三重子 牛島定信 岩崎徹也 藤山直樹 相田信男 | |
| | 藤山直樹 | 衣笠隆幸 | 投影同一化 | ・精神療法(自己心理学)セミナー 10月20日(日) 於:財団研修室 間主観的アプローチの臨床(少人数ワークショップ) 講師 丸田俊彦 小此木啓吾 狩野力八郎 藤山直樹 参加人数:26名 | | 研究事業 精神分析概念に関する再検討研究会 目的:精神分析学の諸概念とその訳語について再検討し研究の要約を報告、意見交換を行う 7月より8回 於:財団研修室 | | 事務局長 小熊謙次 | |
| | 松木邦裕 | 木部則雄 | 投影同一化・コンテイン・病的自己愛 | ・タヴィストッククリニックにおける臨床経験 現代英国精神分析の動向 8月11日(日) 於:財団研修室 講師 福本修 共催 福本修君を囲む会 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:30名 | | 研究事業 精神分析概念に関する再検討研究会 目的:精神分析学の諸概念とその訳語について再検討し研究の要約を報告、意見交換を行う 7月より8回 於:財団研修室 | | 1996年4月～ ●精神分析セミナー事務局設置 | |
| | 妙木浩之 | 牛島定信 | ウィニコットの周辺 | | | | | | |
| | 衣笠隆幸 | 小此木啓吾 | 超自我形成と罪悪感 | | | | | | |
| | 齋藤久美子 | 狩野力八郎 | social reference と自己制御の発達 | | | | | | |
| | 北山修 | 小此木啓吾 | 罪悪感・傷ついた母親 | | | | | | |
| | 衣笠隆幸 | 藤山直樹 | 抑うつ不安と病的自己愛 | | | | | | |
| | 岡野憲一郎 | 狩野力八郎 | 恥と罪—自己愛 | | | | | | |
| | 参加人数:132名 | | | | | | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第2期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:20名 | | | | | | | | |
| | グループ理論研究セミナー(新規企画) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:37名 | | | | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成 (右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 |
|---|------------------|---|--|---|
| | 通年研修 | 単発研修 | | |
| 1996年度 (平成8年度) 1996年 4月1日～ 1997年 3月31日 | | <p>・精神分析研究ワークショップ スキゾイドーその全体像を探る 9月1日 (日) 於: 日本青年館・地下ホール 講師 小此木啓吾 衣笠隆幸 狩野力八郎 牛島定信 北山修 深津千賀子 中村留貴子 佐伯喜和子 大野裕 藤山直樹 相田信男 滝口俊子 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数: 123名</p> <p>・乳幼児発達研究ワークショップ Anni Bergman先生をお迎えして 10月13日 (日) 於: 慶応病院新棟11階 大会議室 講師 Anni Bergman Daniel Freemann 小此木啓吾 牛島定信 丸田俊彦 深津千賀子 木部則雄 共催 慶応児童治療研究会 小寺記念精神分析研究財団 参加人数: 80名</p> <p>・精神分析研究セミナー 11月10日 (日) 於: 津田ホール 講師 Sander Abend 小此木啓吾 相田信男 狩野力八郎 衣笠隆幸 皆川邦直 共催 日本精神分析協会 小寺記念精神分析研究財団 参加人数: 50名</p> <p>・パーソナリティ障害臨床セミナー Michael Stone先生を迎えて 11月23日 (祝・土) 於: 慶応病院新棟11階 大会議室 講師 Michael Stone 小此木啓吾 狩野力八郎 大野裕 共催 パーソナリティ障害臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数: 100名</p> <p>・犯罪行動の精神分析 1997年1月12日 (日) 於: 野口英世記念会館 演題 犯罪の無意識的幻想 講師 Christopher Cordess 小此木啓吾 乾吉佑 北山修 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 後援 北山研究所 参加人数: 69名</p> <p>・Elizabeth Bianchedi先生をお迎えして 1997年3月2日 (日) 於: 慶応病院新棟11階 大会議室 講師 Elizabeth Bianchedi 小此木啓吾 乾吉佑 相田信男 衣笠隆幸 共催 日本精神分析協会 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団</p> | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成 (右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | |
|-------------------|---|-------|--|---|-----------------|---|--|
| | 通年研修 | | 単発研修 | 研究助成 | | | |
| 1997年度 (平成9年度) | 精神分析研究セミナー (第3期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:精神分析の現在 司会 小此木啓吾 | | | ・ J. Steiner先生との対話 4月6日 (日) 於:津田ホール 心の退避とエディプス・コンプレックス 講師 J. Steiner 小此木啓吾 乾吉佑 狩野力八郎 木部則雄 衣笠隆幸 白波瀬丈一郎 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:59名 | | 分析協会東京支部設立準備委員 東京精神分析研究所設立費用 日本精神分析協会 第40回国際精神分析学会バルセロナ大会の参加費用 | 理事長 小此木啓吾 常務理事 島村三重子 |
| 1997年 4月1日～ | 講師 | 討論 | テーマ | 国際交流 | | 理事 岩崎徹也 狩野力八郎 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 | |
| 1998年 3月31日 | 丸田俊彦 | 齋藤久美子 | 自己感と情動調律の機能 | J. Steiner先生との対話 | 4月6日 (日) | | 監事 中田勇雄 滝口俊子 任期:1996年4月1日～1998年3月31日 |
| | 松木邦裕 | 相田信男 | 対象関係論の基礎理解 | 集団療法ワークショップ | 4月20日 (日) | 助成事業選考委員 岩崎徹也 乾吉佑 賀陽濟 島村三重子 馬場謙一 | |
| | 藤山直樹 | 妙木浩之 | オグデンの仕事 | 精神分析研究セミナー | 2種の罪悪感とMOURNING | | 10月12日 (日) |
| | 狩野力八郎 | 藤山直樹 | 自己愛の研究 | M. Persons先生との集まり | 11月9日 (日) | 共催 日本精神分析協会 | |
| | 北山修 | 丸田俊彦 | 「抱えること」と移行対象 | Bianchedi先生をお迎えして | 1998年2月22日 (日) | | |
| | 小此木啓吾 | 狩野力八郎 | 自我境界と自己愛-Federn, Pの自我心理学 | 研究事業 | | | 教育研修委員 狩野力八郎 小此木啓吾 島村三重子 岩崎徹也 相田信男 北山修 大野裕 牛島定信 藤山直樹 |
| | 齋藤久美子 | 木部則雄 | 自己調節の発達と対象関係 | 精神分析的自己愛病理研究 目的:症例の検討と文献検討方式により行われた 担当:狩野力八郎 4月より月1回 於:財団会議室 参加人数:8名 | | | |
| | 木部則雄 | 藤山直樹 | メルツァーの「精神分析過程」 - クライン、Mの症例リチャードに即して - | 臨床言語研究会 目的:日本語臨床の立場から日本人心性や病理の理解について論文を読む抄読会形式で行われた 担当:北山修 4月より月1回 於:財団研修室 参加人数:15名 | | | 事務局長 小熊謙次 |
| | 妙木浩之 | 賀陽濟 | 錯誤の精神分析 | ・夏期特別ワークショップ 8月31日 (日) 於:慶応病院新11階 大会議室 クラインとピオンの臨床 講師 小此木啓吾 狩野力八郎 菊地孝則 木部則雄 松木邦裕 衣笠隆幸 乾吉佑 白波瀬丈一郎 森さち子 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:137名 | | | |
| | 岡野憲一郎 | 狩野力八郎 | 精神分析理論の再考と提供モデル | ・精神分析研究セミナー 2種の罪悪感とMOURNING 10月12日 (日) 於:慶応病院新棟11階 大会議室 講師 Dr. Leon Grinberg 小此木啓吾 相田信男 狩野力八郎 | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 1997年4月 ●日本精神分析協会インスティテュート設立 |
| | 参加人数:134名 | | | ・第11回精神療法(自己心理学)セミナー 10月19日 (日) 於:財団研修室 間主観的アプローチにおける心的外傷理解とその臨床 講師 丸田俊彦 小此木啓吾 狩野力八郎 高野晶 参加人数:35名 | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第3期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:20名 | | | ・ Bianchedi先生をお迎えして 1998年2月22日 (日) 於:財団研修室 講師 Bianchedi 小此木啓吾 衣笠隆幸 共催 日本精神分析協会 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:30名 | | | |
| | グループ理論研究セミナー (第2期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:31名 | | | | | | |
| | 精神療法セミナー(新規企画) 4月より全12回 於:財団研修室 講師 藤山直樹 参加人数:14名 | | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的)及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|-----|--|-------|-----------------|------|------|-------|------|-------|-----------------------|------|-----|--------------|------|------|------------------|-----|-------|---------|-------|------|-------------------------------|------|-----|------------|------|------|------------------|-------|------|--------------------------|--|---|---|
| | 通年研修 | 単発研修 | 国際交流 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1998年度 (平成10年度) | 精神分析研究セミナー(第4期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:精神療法における情緒と言語化の機能 司会 小此木啓吾 | | 精神分析研究ワークショップ 4月4日(土)5日(日) 於:野口英世記念会館 危険な行動の可能性をどう察知するのか 講師 Joanne Silove H.Sadowski 鈴木龍 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:60名 | | 理事 小此木啓吾 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 狩野力八郎 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1998年 4月1日～ 1999年 3月31日 | <table border="1"> <tr><td>講師</td><td>討論</td><td>テーマ</td></tr> <tr><td>丸田俊彦</td><td>狩野力八郎</td><td>間主観的アプローチ共感と言語化</td></tr> <tr><td>松木邦裕</td><td>妙木浩之</td><td>象徴と解釈</td></tr> <tr><td>藤山直樹</td><td>狩野力八郎</td><td>オグデン投影同一化と夢想(reverie)</td></tr> <tr><td>衣笠隆幸</td><td>高野晶</td><td>現代クライン派の解釈技法</td></tr> <tr><td>鈴木純一</td><td>相田信男</td><td>精神分析的集団精神療法(その1)</td></tr> <tr><td>北山修</td><td>小此木啓吾</td><td>精神療法と言葉</td></tr> <tr><td>齋藤久美子</td><td>木部則雄</td><td>感情調節と言語化 - パインにおける支持・解釈を参考に -</td></tr> <tr><td>妙木浩之</td><td>賀陽濟</td><td>精神分析的談話の分析</td></tr> <tr><td>鈴木純一</td><td>相田信男</td><td>精神分析的集団精神療法(その2)</td></tr> <tr><td>岡野憲一郎</td><td>藤山直樹</td><td>外傷理論の推敲と「マルチ・ネットワーク・モデル」</td></tr> </table> | 講師 | 討論 | テーマ | 丸田俊彦 | 狩野力八郎 | 間主観的アプローチ共感と言語化 | 松木邦裕 | 妙木浩之 | 象徴と解釈 | 藤山直樹 | 狩野力八郎 | オグデン投影同一化と夢想(reverie) | 衣笠隆幸 | 高野晶 | 現代クライン派の解釈技法 | 鈴木純一 | 相田信男 | 精神分析的集団精神療法(その1) | 北山修 | 小此木啓吾 | 精神療法と言葉 | 齋藤久美子 | 木部則雄 | 感情調節と言語化 - パインにおける支持・解釈を参考に - | 妙木浩之 | 賀陽濟 | 精神分析的談話の分析 | 鈴木純一 | 相田信男 | 精神分析的集団精神療法(その2) | 岡野憲一郎 | 藤山直樹 | 外傷理論の推敲と「マルチ・ネットワーク・モデル」 | Horwitz先生をお迎えして 5月17日(日) 於:財団研修室 心理療法のリサーチに関する研究 講師 Horwitz 相田信男 | 精神分析研究ワークショップ 4月4日(土)5日(日) Horwitz先生をお迎えして 5月17日(日) Robert Emde先生をお迎えして 10月25日(日) Daniel Freeman先生をお迎えして 10月31日(土) Paul Roazen先生をお迎えして 11月14日(土)、15日(日) | 評議員 乾吉佑 牛島定信 大野裕 北山修 櫻井英樹 辻洋一 福山勝 深津千賀子 中村留貴子 監事 中田勇雄 滝口俊子 任期:1998年4月1日～2000年3月31日 助成事業選考委員 (1998年解散) 教育研修委員 狩野力八郎 北山修 小此木啓吾 大野裕 島村三重子 牛島定信 岩崎徹也 藤山直樹 相田信男 事務局長 小熊謙次 |
| 講師 | 討論 | テーマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 丸田俊彦 | 狩野力八郎 | 間主観的アプローチ共感と言語化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 松木邦裕 | 妙木浩之 | 象徴と解釈 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 藤山直樹 | 狩野力八郎 | オグデン投影同一化と夢想(reverie) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 衣笠隆幸 | 高野晶 | 現代クライン派の解釈技法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鈴木純一 | 相田信男 | 精神分析的集団精神療法(その1) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北山修 | 小此木啓吾 | 精神療法と言葉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 齋藤久美子 | 木部則雄 | 感情調節と言語化 - パインにおける支持・解釈を参考に - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 妙木浩之 | 賀陽濟 | 精神分析的談話の分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鈴木純一 | 相田信男 | 精神分析的集団精神療法(その2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岡野憲一郎 | 藤山直樹 | 外傷理論の推敲と「マルチ・ネットワーク・モデル」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加人数:100名 体験グループ・セミナー(第4期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:20名 グループ理論研究セミナー(第3期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:35名 精神療法セミナー 4月より全12回 於:財団研修室 講師 狩野力八郎 藤山直樹 参加人数:13名 | | 夏期特別ワークショップ 8月30日(日) 於:慶応病院新棟 11階 大会議室 精神療法における情動と言語化の機能 講師 小此木啓吾 狩野力八郎 齋藤久美子 北山修 乾吉佑 佐伯喜和子 松木邦裕 深津千賀子 中村留貴子 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:100名 | 精神分析的自己愛病理研究 担当:狩野力八郎 4月より毎土曜日 於:財団会議室 参加人数:8名 臨床言語研究会 担当:北山修 4月より月1回 於:財団研修室 参加人数:15名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Robert Emde先生をお迎えして 講演と交流 10月25日(日) 於:津田ホール 乳幼児研究と精神分析 - とくに情動と発達 - 講師 Robert Emde 小此木啓吾 狩野力八郎 丸田俊彦 北山修 深津千賀子 平野直己 井上果子 森さち子 濱田庸子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 第12回精神療法(自己心理学)セミナー 10月25日(日) 於:財団研修室 間主観的アプローチの臨床 講師 丸田俊彦他 参加人数:30名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Daniel Freeman先生をお迎えして 10月31日(土) 於:国際文化会館講堂 講師 Daniel Freeman 小此木啓吾 北山修 賀陽濟 藤山直樹 後援 北山研究所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Paul Roazen先生との集い フロイトと後継者達 11月14日(土) 於:財団研修室 講演 Paul Roazen | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Paul Roazen先生をお迎えして 講演と交流 11月15日(日) 於:慶応病院新棟 11階 大会議室 フロイト、そして精神分析家たち、その実像に迫る 『プラザー・アニマル』を中心に 講師 Paul Roazen 小此木啓吾 狩野力八郎 妙木浩之 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 財団を会場にして開催した主要な出来事 ●日本精神分析協会東京大会 12月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成 (右: 申請者 左: 助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | | | |
|----------------------------------|---|---|---|---|---|---|--|--|---|
| | 通年研修 | | | 単発研修 | | 研究助成 | | | |
| 1999年度 (平成11年度) | 精神分析研究セミナー(第6期) 5月より全10回 於: 津田ホール テーマ: 心の組織化と間主観性 司会 小此木啓吾 | | | ・小寺精神分析研究セミナー-春期特別講義 4月3日(土) 於: 津田ホール 間主観的アプローチ(ストロロウ) 情緒的理解と コンテキスト(文脈) 講師 丸田俊彦 小此木啓吾 村岡倫子 参加人数: 110名 | | 日本精神分析協会 | 第41回国際精神分析学会(チリ、サンチャゴ)における J P Sの会合 | 理事長 小此木啓吾 | 評議員 乾吉佑 牛島定信 大野裕 北山修 櫻井英樹 辻洋一 福山勝 深津千賀子 中村留貴子 |
| 1999年 4月1日～ 2000年 3月31日 | 講師 松木邦裕 菊地孝則 平井正三 藤山直樹 衣笠隆幸 白波瀬丈一郎 木部則雄 平井正三 狩野力八郎 丸田俊彦 北山修 高野晶 齋藤久美子 狩野力八郎 藤山直樹 平島奈津子 妙木浩之 賀陽濟 岡野憲一郎 木部則雄 | テーマ 分析空間での出会い メルツァー、Dの次元論 心の退避(スタイナー、J) 粘着性精神病理 事後性の研究(フロイト、S.モデル、A) 甘え理論の展開 関係調節と自己物語 物語の生成かそれとも解読か、ウィニ コット、オグデンを中心に 無意識のパラドックス 治療者の受動性と能動性 | ・第6回日本語臨床研究会 4月17日(土)18日(日) 於: 野口英世記念会館 阿蘭世コンプレックスと臨床的意義 主催 日本語臨床研究会 後援 小寺記念精神分析研究財団 | 精神分析技法の研究 担当: 狩野力八郎 4月より毎土曜日 於: 財団会議室 参加人数: 8名 | 臨床言語研究会 担当: 北山修 4月より月1回 於: 財団研修室 参加人数: 15名 | 常務理事 島村三重子 | 理事 岩崎徹也 狩野力八郎 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 | 監事 中田勇雄 滝口俊子 任期: 1998年4月1日～2000年3月31日 | |
| | 体験グループ・セミナー(第5期) 5月より全10回 於: 財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数: 22名 | | | ・精神分析研究セミナー 7月20日(火) 於: 津田ホール 精神分析的精神療法(ランクス、R)を学ぶ -コミュニケーション・アプローチの実際- 講師 小此木啓吾 中村留貴子 妙木浩之 狩野力八郎 佐伯喜和子 深津千賀子 白波瀬丈一郎 乾吉佑 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数: 75名 | | | | 教育研修委員 狩野力八郎 北山修 小此木啓吾 大野裕 島村三重子 牛島定信 岩崎徹也 藤山直樹 相田信男 | |
| | グループ理論研究セミナー(第4期) 5月より全10回 於: 財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数: 39名 | | | ・精神分析セミナー 8月25日(水)～27日(金) 於: 津田ホール 児童分析入門 クライン派のアプローチ 講師 小此木啓吾 中村留貴子 乾吉佑 木部則雄 深津千賀子 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数: 66名 | | | | | |
| | 力動心身医学セミナー(アドバンス・コース)(新規企画) 5月より全5回 於: 財団研修室 講師 小此木啓吾 狩野力八郎 菊地孝則 江花昭一 松波聖治 中野弘一 菊地孝則 北山修 岩崎徹也 津久井要 村岡倫子 高野晶 鈴木典子 藤山直樹 久保木富房 後援 力動心身医学セミナー実行委員会 参加人数: 34名 | | | ・夏期特別ワークショップ 8月29日(日) 於: 砂防会館別館 間主観性と自己物語 講師 小此木啓吾 齋藤久美子 狩野力八郎 佐伯喜和子 松木邦裕 乾吉佑 衣笠隆幸 藤山直樹 白波瀬丈一郎 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数: 107名 | | | | | |
| | | | | ・Baker先生の講演と討論 9月3日(金) 於: 財団研修室 精神分析における中立性(neutrality)とは 講師 Baker 小此木啓吾 共催 日本精神分析協会インスティテュート東京支部 小寺記念精神分析研究財団 | | | | | |
| | | | | ・第13回精神療法(自己心理学)セミナー 10月17日(日) 於: 財団研修室 間主観的治療のすすめ 講師 丸田俊彦 小此木啓吾 狩野力八郎 小林要二 参加人数: 36名 | | | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 ●日本精神分析協会東京大会 12月 |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的)及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|-----------------------------|--|--|----|--|------|---|---------------------|-------|------|------|-----|-------|-----------------|------|------|---------------------|------|------|-----------------------------|-------|------|------------------------|-------|-----|-------------------|------|-------|-----------------------------|------|------|--------------------------|-------|------|-----------------------|---|--|---|--|--|--|
| | 通年研修 | | | 単発研修 | | 国際交流 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2000年度 (平成12年度) | 精神分析研究セミナー(第6期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:エディプスコンプレックス 司会 小此木啓吾 | | | ・第3回M.マーラー国際シンポジウム 4月1日(土)～2日(日) 於:京王プラザホテル(1日午前) 1日午後及び2日:シェーンバッハ砂防 テマ 情動の発達とその調節 M.マーラーの「分離-個体化」 研究とその後の批判的展開を日米の観察と臨床で探る 講師 Mortimer Ostow Daniel Freeman Anni Bergman Harold Blum Salman Akhtar Phyllis Tyson William Singletary 小此木啓吾 青木豊 木部則雄 西園昌久 北山修 小倉清 齋藤久美子 馬場禮子 乾吉佑 狩野力八郎 牛島定信 衣笠隆幸 奥野洋子 伊崎純子 井上果子 森さち子 青木紀久代 主催 マーガレット・マール財団 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:424名 | | 第3回M.マーラー国際シンポジウム 4月1日(土)、2日(日) Adeline van Waning先生の講演と討論 7月23日(日) Ramon Ganzarain先生を迎えて 10月22日(日) 国際精神分析ワークショップ ミットラーニ・セミナー 2001年3月31日(土)～2001年4月1日(日) | | 理事長 小此木啓吾 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 狩野力八郎 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 監事 中田勇雄 滝口俊子 任期:2000年4月1日～2002年3月31日 教育研修委員 狩野力八郎 北山修 小此木啓吾 大野裕 島村三重子 牛島定信 岩崎徹也 藤山直樹 相田信男 事務局長 小熊謙次 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2000年 4月1日～ 2001年 3月31日 | <table border="1"> <tr> <th>講師</th> <th>討論</th> <th>テーマ</th> </tr> <tr> <td>丸田俊彦</td> <td>白波瀬丈一郎</td> <td>エディプスコンプレックスのコンテクスト</td> </tr> <tr> <td>小此木啓吾</td> <td>相田信男</td> <td>基礎講義</td> </tr> <tr> <td>北山修</td> <td>岡野憲一郎</td> <td>エディプスコンプレックスと幻滅</td> </tr> <tr> <td>松木邦裕</td> <td>菊地孝則</td> <td>エディプス:神話、状況、コンプレックス</td> </tr> <tr> <td>衣笠隆幸</td> <td>木部則雄</td> <td>クライン派におけるエディプスコンプレックスの概念と臨床</td> </tr> <tr> <td>狩野力八郎</td> <td>丸田俊彦</td> <td>力動的システム論とエディプス・コンプレックス</td> </tr> <tr> <td>齋藤久美子</td> <td>館哲朗</td> <td>分離固体化過程とエディプス的三者性</td> </tr> <tr> <td>藤山直樹</td> <td>狩野力八郎</td> <td>エディプスコンプレックスとこころの空間解釈と洞察の意義</td> </tr> <tr> <td>妙木浩之</td> <td>平山栄治</td> <td>解釈と洞察の意義オエディプスとシャロックホームズ</td> </tr> <tr> <td>岡野憲一郎</td> <td>村岡倫子</td> <td>エディプス理論の抽象化と『現実』概念の導入</td> </tr> </table> 参加人数:131名 | | | 講師 | 討論 | テーマ | 丸田俊彦 | 白波瀬丈一郎 | エディプスコンプレックスのコンテクスト | 小此木啓吾 | 相田信男 | 基礎講義 | 北山修 | 岡野憲一郎 | エディプスコンプレックスと幻滅 | 松木邦裕 | 菊地孝則 | エディプス:神話、状況、コンプレックス | 衣笠隆幸 | 木部則雄 | クライン派におけるエディプスコンプレックスの概念と臨床 | 狩野力八郎 | 丸田俊彦 | 力動的システム論とエディプス・コンプレックス | 齋藤久美子 | 館哲朗 | 分離固体化過程とエディプス的三者性 | 藤山直樹 | 狩野力八郎 | エディプスコンプレックスとこころの空間解釈と洞察の意義 | 妙木浩之 | 平山栄治 | 解釈と洞察の意義オエディプスとシャロックホームズ | 岡野憲一郎 | 村岡倫子 | エディプス理論の抽象化と『現実』概念の導入 | ・精神分析セミナー春期特別講義 エディプス・コンプレックス入門 4月22日(土) 於:津田ホール 講師 小此木啓吾 中村留貴子 参加人数:109名 | | 研究事業 精神分析技法の研究 担当:狩野力八郎 4月より毎土曜日 於:財団会議室 参加人数:8名 臨床言語研究会 担当:北山修 4月より月1回 於:財団研修室 参加人数:15名 | | 事務局 小熊謙次 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●心理セミナーアドバンストコース (全25回) ●ロールシャッハ特別セミナー (3日コース) | |
| 講師 | 討論 | テーマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 丸田俊彦 | 白波瀬丈一郎 | エディプスコンプレックスのコンテクスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小此木啓吾 | 相田信男 | 基礎講義 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北山修 | 岡野憲一郎 | エディプスコンプレックスと幻滅 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 松木邦裕 | 菊地孝則 | エディプス:神話、状況、コンプレックス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 衣笠隆幸 | 木部則雄 | クライン派におけるエディプスコンプレックスの概念と臨床 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 狩野力八郎 | 丸田俊彦 | 力動的システム論とエディプス・コンプレックス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 齋藤久美子 | 館哲朗 | 分離固体化過程とエディプス的三者性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 藤山直樹 | 狩野力八郎 | エディプスコンプレックスとこころの空間解釈と洞察の意義 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 妙木浩之 | 平山栄治 | 解釈と洞察の意義オエディプスとシャロックホームズ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岡野憲一郎 | 村岡倫子 | エディプス理論の抽象化と『現実』概念の導入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第6期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:22名 グループ理論研究セミナー(第5期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:40名 力動心身医学セミナー(アドバンス・コース)2期 5月より全5回 於:財団研修室 講師 高野晶 小此木啓吾 松波聖治 深津千賀子 狩野力八郎 村岡倫子 妙木浩之 成田善弘 末松弘行 菊地孝則 中野弘一 後援 力動心身医学セミナー実行委員会 参加人数:38名 | | | ・東北力動精神分析医学セミナー 7月2日(日) 於:仙台市勝山会館 力動精神医学の新しい展開 講師 小此木啓吾 本間博彰 森岡由起子 相田信男 鈴木廣子 島村三重子 岩崎徹也 館下一誠 狩野力八郎 稲村茂 生地新 共催 東北地区精神分析セミナー実行委員会 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:120名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | ・「クリニカル・クライン」セミナー 7月7日(金)～9月8日(金)全5回 於:津田ホール 現代クライン派の基礎知識と臨床を学ぶ 講師 木部則雄 福本修 平井正三 参加人数:100名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | ・現代米国における新しい精神分析の動向 7月23日(日) 於:津田ホール とくに弁証法的精神分析:ホフマンとベンジャミンについて 講師 岡野憲一郎 小此木啓吾 狩野力八郎 北山修 参加人数:43名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | ・Adeline van Waning先生の講演と討論 7月23日(日) 於:津田ホール 精神分析による東洋と西洋の出会い 講師 Adeline van Waning 小此木啓吾 相田信男 共催 日本精神分析協会インスティテュート東京支部 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:37名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●心理セミナーアドバンストコース (全25回) ●ロールシャッハ特別セミナー (3日コース) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 |
|--|------------------|--|---|---|
| | 通年研修 | 単発研修 | | |
| 2000年度 (平成12年度) 2000年 4月1日～ 2001年 3月31日 | | <p>・夏期特別ワークショップ 8月27日(日) 於:全郵政会館 エディプス・コンプレックスその全体像を探る 講師 小此木啓吾 松木邦裕 木部則雄 相田信男 狩野力八郎 妙木浩之 深津千賀子 中村留貴子 齋藤久美子 北山修 乾吉佑 藤山直樹 白波瀬丈一郎 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:168名</p> <p>・自己心理学セミナー -KohutからStolorowまで- 9月22日(金)～10月27日(金)全6回 於:津田ホール 講師 小此木啓吾 舘哲朗 福井敏 狩野力八郎 丸田俊彦 参加人数:79名</p> <p>・Ramon Ganzarain先生を迎えて 10月22日(日) 於:郵政会館 近親姦の臨床 講師 Ramon Ganzarain 相田信男 深津千賀子 小此木啓吾 衣笠隆幸 岩崎徹也 狩野力八郎 中村留貴子 三浦紀子 白波瀬丈一郎 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:97名</p> <p>・精神分析的アセスメントセミナー タヴィストックでの臨床経験から 11月17日(金)～12月15日(金)全4回 於:財団研修室 講師 福本修 小此木啓吾 参加人数:47名</p> <p>・第14回精神療法(自己心理学)セミナー 11月19日(日) 於:財団研修室 間主観的アプローチのコンテクスト コファートの自己心理学からストロロウの間主観性へ 講師 丸田俊彦 小此木啓吾 狩野力八郎 村岡倫子 参加人数:25名</p> <p>・ミットラーニ・セミナー準備基礎セミナー 2001年2月23日(金)～3月23日(金)全4回 於:津田ホール、全郵政会館 こころの「容れもの」(container)の成り立ちを探る 講師 小此木啓吾 木部則雄 福本修 平井正三</p> <p>・国際精神分析ワークショップ ミットラーニ・セミナー 2001年3月31日(土)～2001年4月1日(日) 於:野口英世記念会館 「こころの容れもの」の成り立ちを探る」 講師 Theodore Mitrani Judith Mitrani 小此木啓吾 丸田俊彦 狩野力八郎 乾吉佑 佐伯喜和子 福本修 中村留貴子 木部則雄 衣笠隆幸 齋藤久美子 馬場禮子 北山修 深津千賀子 貞安元 平井正三 森さち子 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:260名</p> | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的)及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | |
|----------------------------------|--|-------|-------------------------------|--|--|---|--|
| | 通年研修 | | | 単発研修 | | 研究助成 | |
| 2001年度 (平成13年度) | 精神分析研究セミナー(第7期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:精神療法の治療機序 司会 小此木啓吾 | | | ・小寺研究セミナー基礎講義 4月21日(土) 於:津田ホール 精神療法の治療機序 講師 小此木啓吾 狩野力八郎 参加人数:110名 | | 日本精神分析協会 第42回国際精神分析学会(ニース)におけるJ P Sの活動 | |
| 2001年 4月1日～ 2002年 3月31日 | 講師 | 討論 | テーマ | ・力動心身医学仙台セミナー基礎編 心身医学臨床に役立つ精神力動的観点 6月2日(土) 於:仙建ビル 6月3日(日) 於:東北大学医学部良陵会館 講師 菊地孝則 成田善弘 高野晶 島村三重子 小此木啓吾 狩野力八郎 岡野高明 本郷道夫 生地新 共催 力動心身医学セミナー実行委員会 小寺記念精神分析研究財団 | | 精神分析的自己愛病理研究 目的:精神分析療法における治療技法の治療的意味の検討を行った 担当:狩野力八郎 4月より月1回 於:財団会議室 参加人数:8名 | |
| | 丸田俊彦 | 福本修 | 精神療法の治療機序「あれかこれか」から「あれもこれも」へ | ・精神分析的アセスメントセミナー(第2期) 6月29日(金)～9月21日(金) 於:財団研修室 タヴィストックでの臨床経験から 講師 福本修 小此木啓吾 参加人数:36名 | | 臨床言語研究会 目的:日本語臨床の立場から日本人の心性や病理の理解について論文を読む抄読会を行った 担当:北山修 4月より月1回 於:財団研修室 参加人数:15名 | |
| | 松木邦裕 | 斎藤久美子 | 治療者のアルファ機能と解釈 | ・夏期特別セミナー精神分析研究ワークショップ 8月26日(金) 於:野口英世記念会館 テマ 精神療法の治療機序 講師 小此木啓吾 狩野力八郎 松木邦裕 齊藤久美子 深津千賀子 藤山直樹 中村留貴子 福本修 妙木浩之 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:126名 | | 理事 岩崎徹也 狩野力八郎 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 | |
| | 北山修 | 相田信男 | ダブル・バインド…治療的なものと病的なもの | ・精神分析的アセスメントセミナー 11月2日(金)～12月7日(金)全5回 於:財団研修室 実際の精神療法の治療過程から学ぶ シリーズ第1回 講師 小此木啓吾 館哲朗 村岡倫子 菊地孝則 佐伯喜和子 高野晶 中村留貴子 福本修 青木豊 木部則雄 森さち子 参加人数:23名 | | 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 狩野力八郎 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 | |
| | 衣笠隆幸 | 村岡倫子 | 精神分析療法の目的と治療機序 クライン派の視点 | ・第15回精神療法(自己心理学)セミナー 2002年3月24日(日) 於:財団研修室 精神療法の治療機序とその促進要素 -「間主観性理論」と「ポストングループの研究」に学ぶ- 講師 小此木啓吾 丸田俊彦 狩野力八郎 参加人数:36名 | | 監事 中田勇雄 滝口俊子 任期:2000年4月1日～2002年3月31日 | |
| | 福本修 | 平山栄治 | 二人の交わりintercourseとしての精神分析 | | | 教育研修委員 狩野力八郎 北山修 小此木啓吾 大野裕 島村三重子 牛島定信 岩崎徹也 藤山直樹 相田信男 | |
| | 狩野力八郎 | 平島奈津子 | 生命現象としての精神療法 | | | 事務局長 小熊謙次 | |
| | 齋藤久美子 | 館哲朗 | 治療機序における「二者性」と「三者性」の要素 | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●心理セミナーアドバンストコース (全25回) ●ロールシャッハ特別セミナー (3日コース) | |
| | 藤山直樹 | 狩野力八郎 | 解釈をすることの逆説 | | | | |
| | 妙木浩之 | 深津千賀子 | 終わりある精神療法と終わりなき精神療法について | | | | |
| | 岡野憲一郎 | 中村留貴子 | 精神療法における共通因子について 参加人数:164名 | | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第7期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:23名 | | | | | | |
| | グループ理論研究セミナー(第6期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:42名 | | | | | | |
| | 力動心身医学セミナー(アドバンス・コース)3期 5月より全5回 於:財団研修室 講師 小此木啓吾 山岡昌之 菊地孝則 狩野力八郎 中野弘一 村岡倫子 中島弘子 高野晶 森さち子 松波聖治 齋藤直子 末松弘行 江花昭一 後援 力動心身医学セミナー 実行委員会 参加人数:28名 | | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成（右：申請者 左：助成交付目的） 及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | | |
|--------------------|---|--------|--------------------------|---|--|---|--|--|
| | 通年研修 | | 単発研修 | 国際交流 | | | | |
| 2002年度 (平成14年度) | 精神分析研究セミナー（第8期） 5月より全10回 補講1回 於：津田ホール テーマ：精神分析の基礎を学ぶ 司会 小此木啓吾 | | | ・ Rivka. Eifermann先生特別講義 10月31日（木） 於：財団研修室 心的環境とアイデンティティ 講師 Rivka. Eifermann 小此木啓吾 共催 慶応義塾大学医学部精神神経科心理研究室 木曜研究会 小寺記念精神分析研究財団 参加人数：40名 | | Rivka. Eifermann先生特別講義 10月31日（木）、11月10日（日） Benalcazar先生講演会 2003年2月8日（土） | | 理事長 小此木啓吾 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 狩野力八郎 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 監事 中田勇雄 滝口俊子 任期：2002年4月1日～2004年3月31日 教育研修委員 狩野力八郎 北山修 小此木啓吾 大野裕 島村三重子 牛島定信 岩崎徹也 藤山直樹 相田信男 事務局長 小熊謙次 |
| 2002年 4月1日～ | 講師 | 討論 | テーマ | 研究事業 | | | | |
| 2003年 3月31日 | 白波瀬丈一郎 | 深津千賀子 | フロイトと現代の精神分析 | 精神分析的自己愛病理研究 目的：精神分析療法における治療技法の治療的意味の検討を行った 担当：狩野力八郎 4月より月1回 於：財団会議室 参加人数：8名 | | | | |
| | 丸田俊彦 | 相田信男 | 自己愛と間主観性 | ・ Rivka. Eifermann先生特別講義 11月10日（日） 於：財団研修室 フロイトのフリース体験と夢の研究 講師 Rivka. Eifermann 小此木啓吾 岩崎徹也 共催 日本精神分析協会インスティテュート東京支部 小寺記念精神分析研究財団 参加人数：15名 | | | | |
| | 松木邦彦 | 白波瀬丈一郎 | 逆転移—転移 | ・ 倒錯の精神分析 Benalcazar先生講演会 2003年2月8日（土） 於：津田ホール テーマ 人間の機能の普遍的な側面としての倒錯性と倒錯構造 講師 Becquer Benalcazar 小此木啓吾 狩野力八郎 満岡義敬 共催 日本精神分析協会インスティテュート東京支部 参加人数：54名 | | | | |
| | 狩野力八郎 | 白波瀬丈一郎 | 記憶における事後性 | ・ 精神療法セミナー 2003年3月29日（土） 於：津田ホール 間主観的なアプローチの見地から前言語的交流をどう理解するか 講師 丸田俊彦 小此木啓吾 白波瀬丈一郎 森さち子 参加人数：38名 | | | | |
| | 北山修 | 中村留貴子 | 空想することプレイすること | ・ 第16回精神療法（自己心理学）セミナー 2003年3月30日（日） 於：財団研修室 間主観的感性—その臨床的意義— 講師 小此木啓吾 丸田俊彦 狩野力八郎 参加人数：32名 | | | | |
| | 齋藤久美子 | 深津千賀子 | 抑圧と適応 | | | | | |
| | 小此木啓吾 | 白波瀬丈一郎 | フロイトと現代の精神分析 (5月分の補講) | | | | | |
| | 藤山直樹 | 木部則雄 | エディプス・コンプレックスは 原幼想か | | | | | |
| | 衣笠隆幸 | 高野晶 | とり入れ同一化と投影同一化 | | | | | |
| | 妙本浩之 | 福本修 | 自我の分裂と倒錯 | | | | | |
| | 岡野憲一郎 | 狩野力八郎 | 治療者の倫理の基礎理論 | | | | | |
| | 参加人数：158名 | | | | | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第8期) 5月より全10回 於：財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数：22名 | | | | | | | |
| | グループ理論研究セミナー（第7期） 5月より全10回 於：財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数：42名 | | | | | | | |
| | | | | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●心理セミナーアドバンストコース（全25回） ●ロールジャッハ特別セミナー（3日コース） | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的)及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 |
|----------------------------------|--|--------|--|--|-----------|---|
| | 通年研修 | | 単発研修 | 国際交流 | | |
| 2003年度 (平成15年度) | 精神分析研究セミナー(第9期) 4月より全11回 於:津田ホール テーマ:間主観性をどうとらえるかーその治療的意義と問題点ー 司会 小此木啓吾 10月より狩野力八郎 | | | • James S. Grotstein先生講演会 10月19日(月) 於:財団研修室 講師 James S. Grotstein 狩野力八郎 菊地孝則 共催 日本精神分析協会インスティテュート東京支部 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:37名 | | 2003年小此木先生ご逝去により理事長変更 2003年(平成15年)10月1日付け 狩野力八郎 理事長就任 |
| 2003年 4月1日～ 2004年 3月31日 | 講師 | 討論 | テーマ | James S. Grotstein先生講演会 | 10月19日(月) | ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●ロールシャッハ特別セミナー(3日間コース) |
| | 小此木啓吾 貞安元 | 白波瀬丈一郎 | 間主観的アプローチ入門 | Bernard Roberts先生講演会 | 11月7日(土) | |
| | 小此木啓吾 | 白波瀬丈一郎 | 間主観性研究の系譜フロイト,フェレン ツイ,コフートからエムディ,スターンまで | 研究事業 治療過程と治療機序 目的:精神分析療法における検討を治療機序を解明する 担当:狩野力八郎 4月より3月まで 於:財団会議室 参加人数:8名 | | 理事長 狩野力八郎 評議員 乾吉佑 大野裕 北山修 櫻井英樹 辻洋一 福山勝 中村留貴子 菊地孝則 白波瀬丈一郎 |
| | 丸田俊彦 | 相田信男 | 間主観的感性 | • Bernard Roberts先生講演会 11月7日(土) 於:財団研修室 The Use of Dreams in the Clinical Situation to Assess Mental State 講師 Bernard Roberts 藤山直樹 参加人数:28名 | | 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 深津千賀子 |
| | 齋藤久美子 | 中村留貴子 | 都合により中止(12月に振替) | • Alexandra Harrison先生研究会 11月24日(月) 於:財団研修室 治療的アクションの探求 ビデオによる自動治療研究の研究会 講師 北山修 井上果子 森さち子 後援 北山研究所 参加人数:30名 | | 監事 中田勇雄 高野晶 任期:2003年4月1日～2004年31日 |
| | 狩野力八郎 | 深津千賀子 | 分析的交わりと間主観性:分析状況と 精神分析的関係の成立/不成立 | • 第17回精神療法(自己心理学)セミナー 2004年3月20日(土) 於:財団研修室 意味了解の共同作業-間主観的アプローチ入門- 講師 丸田俊彦 狩野力八郎 貞安元 参加人数:15名 | | 教育研修委員 狩野力八郎 北山修 小此木啓吾 大野裕 島村三重子 牛島定信 岩崎徹也 藤山直樹 相田信男 |
| | 衣笠隆幸 | 福本修 | 現代クライン派から見た間主観性 | | | 事務局長 小熊謙次 |
| | 藤山直樹 | 木部則雄 | ウィニコット～オクデンの考える間主 観的な場所 | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 |
| | 狩野力八郎 | 村岡倫子 | システム、ナラティブ、間主観性 (9月の振替) | | | |
| | 松木邦裕 | 菊地孝則 | 間主観性とコンテイナー/コンテインド・ モデル | | | |
| | 北山修 | 高野晶 | 日本語臨床における間主体性 | | | |
| | 岡野憲一郎 | 狩野力八郎 | 弁証法的構成主義(ホフマン)と間主観性 参加人数:156名 | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第9期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:25名 | | | | | |
| | グループ理論研究セミナー(第8期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:44名 | | | | | |
| | 力動的家族療法セミナー(新規企画) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 中村伸一 中益洋子 狩野力八郎 福山和女 参加人数:47名 | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成 (右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | |
|--------------------|--|-------------|---------------------------|--|--|---|------------------|
| | 通年研修 | | | 単発研修 | | | |
| 2004年度 (平成16年度) | 精神分析研究セミナー (第9期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:精神分析で今なにが新しいか 司会 狩野力八郎 | | | James S. Grotstein先生講演会 9月5日(日) 於:財団研修室 講師 Jhuma Basak 北山修 藤山直樹 岡野憲一郎 後援 北山研究所 参加人数:14名 | | 日本精神分析学会 | 日本精神分析学会第50回記念事業 |
| 2004年 4月1日～ | 講師 | 討論 | テーマ | | | 日本精神分析協会 | 日本精神分析協会50周年記念行事 |
| 2005年 3月31日 | 狩野力八郎 | 菊地孝則 貞安元 | 私は何を探求しているか? | | | 国際交流 | |
| | 北山修 | 白波瀬丈一郎 | 分析家の理論と人生の間-芸術論を巡って- | | | インドの精神分析 9月5日(日) | |
| | 丸田俊彦 | 中村留貴子 | 意味了解の共同作業 | | | 宗教と精神分析 2005年2月11日(金) | |
| | 福本修 | 木部則雄 | 精神分析的探求のもう一つの現場 | | | 研究事業 | |
| | 松本邦裕 | 高野晶 | マイナス1:新しいなにかとの出会い | | | 精神分析的自己愛病理研究 | |
| | 籠直彦 | 福本修 | Christopher Bollasと無意識の語り | 宗教と精神分析 2005年2月11日(金) 於:財団研修室 講師 H.P.J. Stroeken 北山修 狩野力八郎 福本修 後援 北山研究所 参加人数:25名 | | 目的:精神分析療法における過程と治療機序を明らかにする 担当:狩野力八郎 4月より月1回 於:財団会議室 参加人数:10名 | |
| | 齋藤久美子 | 森さち子 | 治療関係の潜在基盤 -「発達」からの示唆- | 第18回精神療法(自己心理学)セミナー 2005年3月27日(日) 於:財団研修室 自己心理学とトラウマ -問主観的パースペクティブから- 講師 丸田俊彦 狩野力八郎 参加人数:22名 | | 精神分析の古典を読む会 目的:精神分析についての古典を精読して、精神分析の新しいアイデアを生むヒントとする 担当:藤山直樹 4月より月1回 於:財団研修室 | |
| | 衣笠隆幸 | 藤山直樹 | 精神分析における「あたらしいもの」とは何か | | | | |
| | 藤山直樹 | 村岡倫子 | 精神分析の新しさを生むもの | | | | |
| | 岡野憲一郎 | 深津千賀子 | 大脳生理学と精神分析との関わり | | | | |
| | 参加人数:117名 | | | | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第10期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:23名 | | | | | | |
| | グループ理論研究セミナー (第9期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:44名 | | | | | | |
| | 力動的家族療法セミナー (第2期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 中村伸一 中益洋子 狩野力八郎 福山和女 参加人数:54名 | | | | | | |
| | 小寺臨床講読セミナー (Clinical Reading Seminar) ビオンの原像に迫る 第1回7/2～8/6 於:財団研修室 講師 狩野力八郎 福本修 木部則雄 平井正三 参加人数:44名 ロンドン現代クライン派を読む 第2回2005年2/4～4/1 講師 狩野力八郎 福本修 木部則雄 平井正三 参加人数:38名 | | | | | | |
| | | | | | | 2004年8月 ●財団法人日本学会事務センター破産により 日本精神分析学会本部 を小寺財団に設置 2004年10月1日 ●日本精神分析学会第50回大会にて、功労賞受 | |
| | | | | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●心理セミナーアドバンストコース (全25回) ●ロールシャッハセミナー (月2回) 特別セミナー (3日コース) | |

理事長
狩野力八郎

常務理事
島村三重子

理事
岩崎徹也
菊本治男
衣笠隆幸
須田唯雄
目黒克己
相田信男
深津千賀子
丸田俊彦

監事
高野晶
河井博之
任期:2004年4月1日～2006年3月31日

教育研修委員
狩野力八郎
島村三重子
岩崎徹也
相田信男
大野裕
北山修

藤山直樹
菊地孝則
岡野憲一郎
福本修
白波瀬丈一郎
奥寺崇

議員
乾吉佑
大野裕
北山修
櫻井英樹
辻洋一
福山勝
中村留貴子
菊地孝則
白波瀬丈一郎

事務局長
小熊謙次

2004年8月
●財団法人日本学会事務センター破産により
日本精神分析学会本部を小寺財団に設置
2004年10月1日
●日本精神分析学会第50回大会にて、功労賞受

財団を会場にして開催した主要な出来事

●日本精神分析協会東京大会 12月

●心理セミナーアドバンストコース (全25回)

●ロールシャッハセミナー (月2回)
特別セミナー (3日コース)

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的)及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | |
|--------------------|---|------|----------------------------|---|----------|---|---|
| | 通年研修 | | 単発研修 | 研究助成 | | | |
| 2006年度 (平成18年度) | 精神分析研究セミナー(第12期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:私のスーパービジョン 司会 狩野力八郎 | | | ・無意識の新しい捉え方 ーマテ・プランコの無意識研究を中心にー 8月27日(日) 於:東京国際大学早稲田サテライト 講師 岡達治 松木邦裕 福本修 妙木浩之 藤山直樹 丸田俊彦 狩野力八郎 福本修 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:83名 | | 日本精神分析協会 フロイト生誕150周年記念事業 | 理事長 狩野力八郎 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 深津千賀子 丸田俊彦 監事 高野晶 河井博之 任期:2006年4月1日～2008年3月31日 教育研修委員 狩野力八郎 藤山直樹 島村三重子 菊地孝則 岩崎徹也 岡野憲一郎 相田信男 福本修 大野裕 白波瀬丈一郎 北山修 奥寺崇 事務局長 小熊健次 |
| 2006年 4月1日～ | 講師 | 討論者 | テーマ | 日本精神分析協会 | 研究助成 | | |
| 2007年 3月31日 | 狩野力八郎 | | スーパービジョン多様性 | 日本精神分析協会 | 国際交流 | | |
| | 森さち子 | | 臨床の中に生き続ける言葉 | Patrick Joseph Mahony先生講演会 | 9月14日(木) | | |
| | 藤山直樹 | | 夢見ることとスーパービジョン | Evelyne A Schwaber先生講演会 | 11月3日(金) | | |
| | 村岡倫子 | | 進化するスーパービジョン(SV) | 研究事業 | | | |
| | 丸田俊彦 | | 私のスーパービジョン:気球の旅 | 精神分析学研究 | | | |
| | 中村留貴子 | | スーパービジョンにおける多面的関係性 | 目的:精神分析療法及び精神分析的治療法における治療機序を明らかにする | | | |
| | 衣笠隆幸 | | スーパービジョン | 担当:狩野力八郎 | | | |
| | 奥寺崇 | | 精神科臨床指導と精神分析的スーパービジョン | 4月より月1回 | | | |
| | 木部則雄 | | SVについて | 於:財団研修室 | | | |
| | 高野晶 | | スーパービジョンと治療者としての能動性 | 参加人数:10名 | | | |
| | 福本修 | | 訓練システムの一部としてのスーパービジョン | 精神分析の古典を読む会 | | | |
| | 生地新 | | スーパービジョンにおける折衷的な理論の使用をめぐって | 目的:精神分析についての古典を精読して、精神分析の新しいアイデアを生むヒントとする | | | |
| | 齋藤久美子 | 丸田俊彦 | スーパービジョンにおける作業同盟 | 担当:藤山直樹 | | | |
| | 深津千賀子 | 藤山直樹 | スーパービジョン効果 | 4月より月1回 | | | |
| | 松木邦裕 | 福本修 | 精神分析での達成とスーパービジョン | 於:財団研修室 | | | |
| | 岡野憲一郎 | | スーパービジョンにおける個人療法的な要素 | | | | |
| | 白波瀬丈一郎 | | 「明日からもまたやっついでいこう」のために | | | | |
| | 参加人数:82名 | | | ・Evelyne A Schwaber先生講演会 | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第12期) | | | 11月3日(金) 於:慶応病院新棟11階 大会議室 | | | |
| | 5月より全10回 於:財団研修室 | | | 講師 Evelyne A Schwaber | | | |
| | 講師 鈴木純一 相田信男 | | | 土居健郎 小倉清 狩野力八郎 | | | |
| | 参加人数:23名 | | | 主催 日本精神分析協会 | | | |
| | グループ理論研究セミナー(第11期) | | | 後援 小寺記念精神分析研究財団 | | | |
| | 5月より全10回 於:財団研修室 | | | 参加人数:101名 | | | |
| | 講師 鈴木純一 相田信男 | | | ・第20回精神療法(自己心理学)セミナー | | | |
| | 参加人数:41名 | | | 2007年3月21日(水・祝) 於:財団研修室 | | | |
| | 力動的家族療法セミナー(第4期) | | | 『間主観性の軌跡』からの展開 | | | |
| | 6月より全10回 於:財団研修室 | | | -プロセス理論とメタ理論- | | | |
| | 講師 中村伸一 中益洋子 狩野力八郎 福山和女 吉川悟 | | | 講師 丸田俊彦 狩野力八郎 森さち子 | | | |
| | 参加人数:36名 | | | 参加人数:31名 | | | |
| | 小寺臨床講読セミナー | | | | | | |
| | 4月より全12回 於:財団研修室 | | | | | | |
| | 現代クライン派の系統的理解:2. 精神病理の把握と介入 | | | | | | |
| | 講師 福本修 | | | | | | |
| | 参加人数:18名 | | | | | | |
| | 小寺臨床講読ワークショップ(新規企画) | | | | | | |
| | 4月より全12回 於:財団研修室 | | | | | | |
| | フロイトの系統的理解:1. 精神分析の発見(1895-1910) | | | | | | |
| | 講師 福本修 狩野力八郎 | | | | | | |
| | 参加人数:18名 | | | | | | |
| | | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 | | | |
| | | | | ●日本精神分析協会東京大会 12月 | | | |
| | | | | ●協会アドバンスセミナー (8/19、20) | | | |
| | | | | ●心理セミナーアドバンストコース (全25回) | | | |
| | | | | ●ロールシャッハ特別セミナー (3日コース) | | | |
| | | | | ●精神分析セミナーシニアコース (9月～3月) | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成 (右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 |
|----------------------------------|--|----------------------------------|--|--|---|--|
| | 通年研修 | | 単発研修 | 研究助成 | | |
| 2007年度 (平成19年度) | 精神分析研究セミナー (第13期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:日常臨床と精神分析 司会 狩野力八郎 | | | 第21回精神療法セミナー 2008年2月24日(日) 於:津田ホール 乳児研究から大人の精神療法へ ー間主観性さまざまー 講師 丸田俊彦 狩野力八郎 森さち子 参加人数:58名 | | 日本精神分析協会 日本精神分析協会創立50周年記念英語論文集第2巻作成費用 |
| 2007年 4月1日～ 2008年 3月31日 | 講師 狩野力八郎 討論者 福井敏 テーマ 日常臨床と精神分析 | 討論者 眞安元 テーマ 日常臨床と精神分析 | 小寺MBT国際セミナー事前研修会 2008年3月28日(金) 於:野口英世記念館講堂 国際セミナーに向けて 講師 狩野力八郎 福本修 奥寺崇 白波瀬丈一郎 協賛 慶応心理臨床セミナー 後援 日本精神分析学会 加人数:120名 | 小寺MBT国際セミナー 2008年3月29日(土)～30日(日) | 常務理事 島村三重子 | |
| | 相田信男 村岡倫子 パートタイマー分析家の日常臨床 ー個人療法そして集団療法ー | 丸田俊彦 高野晶 オーガナイジング・プリンシプル様々 | 小寺MBT国際セミナー 2008年3月29日(土)～30日(日) 於:国立オリンピック記念青少年総合センター 境界パーソナリティ ー障害臨床のフロンティアー ー『心を働かせる機能 (mentalization)』にもとづいた精神療法をめぐってー 講師 Peter Fonagy Efrain Bleiberg Anthony Bateman 狩野力八郎 北山修 衣笠隆幸 小倉清 相田信男 藤山直樹 丸田俊彦 福本修 神庭重信 岡野憲一郎 近藤直司 菊地孝則 鹿島晴雄 奥寺崇 乾吉佑 妙木浩之 白波瀬丈一郎 生地新 協賛 慶応心理臨床セミナー 後援 日本精神分析学会 | 小寺MBT国際セミナー 2008年3月29日(土)～30日(日) | 理事 岩崎徹也 菊本治男 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 深津千賀子 丸田俊彦 | |
| | 北山修 福本修 瀧岡義敏 劇的観点から見た治療者の矛盾 ー日常と精神分析ー | 松木邦裕 生地新 精神分析家と精神科医 | | 精神分析学研究 目的:精神分析療法及び精神分析的な精神療法における治療機序を明らかにする 担当:狩野力八郎 4月より月1回 於:財団研修室 参加人数:10名 | 監事 高野晶 河井博之 任期:2006年4月1日～2008年3月31日 | |
| | 齋藤久美子 森さち子 臨床家の精神分析的な精神活動について | 菊地孝則 福本修 日常臨床と精神分析 | | | 教育研修委員 狩野力八郎 藤山直樹 島村三重子 菊地孝則 岩崎徹也 岡野憲一郎 相田信男 福本修 大野裕 白波瀬丈一郎 北山修 奥寺崇 | |
| | 衣笠隆幸 藤山直樹 日常臨床における精神分析 | 岡野憲一郎 深津千賀子 日常生活と精神分析 | | | 事務局長 2007年12月1日付け 小熊 健次 退職 大原眞由美 就任 | |
| | 藤山直樹 中村留貴子 精神分析実践と精神科臨床の差異 に生きる | 参加人数:91名 | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 <ul style="list-style-type: none"> ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●インスティテュート東京支部例会 (7/7、9/1、10/6、11/3、12/1、1/5、2/2、3/1) ●協会アドバンスセミナー (6/23・24、8/25・26) ●心理セミナーアドバンスコース (全30回) ●ロールシャッハ特別セミナー (3日コース) ●ロールシャッハテスト研究会 (全11回) ●精神分析セミナー (全2回) ●対象関係論東京研修会 (全8回) ●I-FEEL研究会 (2回) ●NPPS (3回) | |
| | 体験グループ・セミナー(第13期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:23名 | | | | | |
| | グループ理論研究セミナー (第12期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:45名 | | | | | |
| | 力動的家族療法セミナー (第5期) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 中村伸一 中益洋子 狩野力八郎 福山和女 吉川悟 参加人数:34名 | | | | | |
| | 小寺臨床講読セミナー 4月より全12回 於:財団研修室 現代クライン派の系統的な理解:3.さまざまな精神病理 講師 福本修 平井正三 狩野力八郎 参加人数:15名 | | | | | |
| | 小寺臨床講読ワークショップ 4月より全12回 於:財団研修室 フロイトの系統的な理解:2.精神分析の完成期 (1911-1920) 講師 福本修 狩野力八郎 参加人数:17名 | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成 (右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|-------------------------------|---|--|-------|------|---------------|------|------|-------------------------------|------|------|----------------|------|-----|-------------|-----|------|---------------------|-------|-------|-------------------|------|------|---------|------|--------|---------------|-----|------|-----------------------------|-------|-----|--------------|---|--|---|
| | 通年研修 | 単発研修 | 国際交流 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2008年度 (平成20年度) | 精神分析研究セミナー(第14期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:『私の分析理論』の変遷 司会 狩野力八郎 | | Naomi Shavit先生をお迎えして 4月1日(火) 「フロイトはなぜ神を拒絶したのか?」 9月13日(土) | 理事長 狩野力八郎 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 深津千賀子 丸田俊彦 監事 高野晶 妙木浩之 任期:2008年4月1日～2010年3月31日 教育研修委員 狩野力八郎 島村三重子 岩崎徹也 相田信男 北山修 藤山直樹 菊地孝則 岡野憲一郎 福本修 白波瀬丈一郎 奥寺崇 事務局長 大原眞由美 事務所移転 2008年6月12日～ 主たる事務所:東京都新宿区四谷3-4 SCビル6F号室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2008年 4月1日～ 2009年 3月31日 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>講師</th> <th>討論者</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狩野力八郎</td> <td>菊地孝則</td> <td>精神分析理論について考える</td> </tr> <tr> <td>藤山直樹</td> <td>小川豊昭</td> <td>精神分析をパーソライズすること: ひとりよがり、自分らしさ</td> </tr> <tr> <td>衣笠隆幸</td> <td>森さち子</td> <td>理論と技法の関連性とその発展</td> </tr> <tr> <td>松木邦裕</td> <td>高野晶</td> <td>経験から学ぶことと理論</td> </tr> <tr> <td>福本修</td> <td>藤山直樹</td> <td>個別性と普遍性: 絶えざる検証の必要性</td> </tr> <tr> <td>齋藤久美子</td> <td>深津千賀子</td> <td>精神分析理論の学習過程-私の場合-</td> </tr> <tr> <td>丸田俊彦</td> <td>木部則雄</td> <td>変遷と不変要素</td> </tr> <tr> <td>相田信男</td> <td>白波瀬丈一郎</td> <td>『私の臨床スタイル』の変遷</td> </tr> <tr> <td>北山修</td> <td>村岡倫子</td> <td>私の精神分析-フロイト、ウィニコット、そして日本語臨床</td> </tr> <tr> <td>岡野憲一郎</td> <td>奥寺崇</td> <td>「治療的柔構造」に向けて</td> </tr> </tbody> </table> | 講師 | 討論者 | テーマ | 狩野力八郎 | 菊地孝則 | 精神分析理論について考える | 藤山直樹 | 小川豊昭 | 精神分析をパーソライズすること: ひとりよがり、自分らしさ | 衣笠隆幸 | 森さち子 | 理論と技法の関連性とその発展 | 松木邦裕 | 高野晶 | 経験から学ぶことと理論 | 福本修 | 藤山直樹 | 個別性と普遍性: 絶えざる検証の必要性 | 齋藤久美子 | 深津千賀子 | 精神分析理論の学習過程-私の場合- | 丸田俊彦 | 木部則雄 | 変遷と不変要素 | 相田信男 | 白波瀬丈一郎 | 『私の臨床スタイル』の変遷 | 北山修 | 村岡倫子 | 私の精神分析-フロイト、ウィニコット、そして日本語臨床 | 岡野憲一郎 | 奥寺崇 | 「治療的柔構造」に向けて | 精神分析マスタークラス研修会 Naomi Shavit先生をお迎えして 4月1日(火) 於:財団研修室 講師 Naomi Shavit 通訳 福本修 共催 日本精神分析協会インスティテュート東京支部 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:14名 精神分析 医学生・研修医セミナー (新規企画) 7月20日(日)21日(月・祝) 於:東京大学教育研究棟 講師 狩野力八郎 菊地孝則 衣笠隆幸 白波瀬丈一郎 藤山直樹 村岡倫子 参加人数:32名 「フロイトはなぜ神を拒絶したのか?」 9月13日(土) 於:財団研修室 フロイトと母親:エディプス・コンプレックスの裏面 講師 Ana-Maria Rizzuto 狩野力八郎 北山修 福本修 共催 日本精神分析協会インスティテュート東京支部 小寺記念精神分析研究財団 参加人数:43名 第22回精神療法セミナー 2009年3月22日(日) 於:津田ホール 「ストロウらの間主観性」再見 新しい展開に向けて 講師 丸田俊彦 狩野力八郎 森さち子 参加人数:38名 | 精神分析学研究 目的:精神分析療法及び精神分析的治療法における治療機序を明らかにする 担当:狩野力八郎 4月より月1回 於:財団研修室 参加人数:10名 | Naomi Shavit先生をお迎えして 4月1日(火) 「フロイトはなぜ神を拒絶したのか?」 9月13日(土) |
| 講師 | 討論者 | テーマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 狩野力八郎 | 菊地孝則 | 精神分析理論について考える | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 藤山直樹 | 小川豊昭 | 精神分析をパーソライズすること: ひとりよがり、自分らしさ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 衣笠隆幸 | 森さち子 | 理論と技法の関連性とその発展 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 松木邦裕 | 高野晶 | 経験から学ぶことと理論 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福本修 | 藤山直樹 | 個別性と普遍性: 絶えざる検証の必要性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 齋藤久美子 | 深津千賀子 | 精神分析理論の学習過程-私の場合- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 丸田俊彦 | 木部則雄 | 変遷と不変要素 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相田信男 | 白波瀬丈一郎 | 『私の臨床スタイル』の変遷 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北山修 | 村岡倫子 | 私の精神分析-フロイト、ウィニコット、そして日本語臨床 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岡野憲一郎 | 奥寺崇 | 「治療的柔構造」に向けて | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第14期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加者人数:25名 グループ理論研究セミナー(第13期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:39名 力動的家族療法セミナー(第6期) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 中村伸一 中釜洋子 狩野力八郎 福山和女 吉川悟 岩井昌也 参加人数:34名 小寺臨床講義セミナー 4月より全12回 於:財団研修室 現代クライン派の系統的理解:4.精神分析過程とその展開 講師 福本修 平井正三 狩野力八郎 参加人数:16名 小寺臨床講義ワークショップ 4月より全12回 於:財団研修室 フロイトの系統的理解:3.新たな精神分析的諸見地 (1920-1939) 講師 福本修 狩野力八郎 参加人数:17名 | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 <ul style="list-style-type: none"> ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●インスティテュート東京支部例会 (4/5、6/7、7/5、9/13、10/4、12/6、2/7、3/7) ●協会アドバンスセミナー (8/23、24) ●精神分析セミナー 6月～全20回 スーパービジョンコーナー ●ロールシャッハテスト研究会 (全12回) ●対象関係論東京研究会 (6回) ●I-FEEL研究会 (1回) ●NPFS(7回) ●MBT研究会 (5回) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成（右：申請者 左：助成交付目的） 及び 国際交流・研究事業 | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|--|---|--|-------|------|--------------|-------|-----------------|------------------|---|--------------|---|------|-----|--------------|------|-----|---------------|-------|------|-------------------------|---|--|--|
| | 通年研修 | 単発研修 | 国際交流 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2009年度 (平成21年度) | 精神分析研究セミナー（第15期） 5月より全10回 於：津田ホール テーマ：乳幼児発達研究と精神分析 司会 狩野力八郎 | | Alberto Hahn先生講演会 4月16日（木） Christopher Bollas先生講演会 11月12日（木） | 理事長 狩野力八郎 常務理事 島村三重子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2009年 4月1日～ | <table border="1"> <tr> <th>講師</th> <th>討論者</th> <th>テーマ</th> </tr> <tr> <td>狩野力八郎</td> <td>生地新</td> <td>乳幼児発達研究と精神分析</td> </tr> <tr> <td>北山修</td> <td>菊地孝則</td> <td>メタファーの源泉としての発達理論</td> </tr> </table> | 講師 | 討論者 | テーマ | 狩野力八郎 | 生地新 | 乳幼児発達研究と精神分析 | 北山修 | 菊地孝則 | メタファーの源泉としての発達理論 | • Alberto Hahn先生講演会 4月16日（木） 於：津田ホール ポストクライン学派の展開 —精神分析におけるドナルド・メルツァーの貢献— 講師 Alberto Hahn 福本修 狩野力八郎 木部則雄 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数：72名 | 国際交流 研究事業 | 議員 乾吉佑 大野裕 北山修 櫻井英樹 辻洋一 福山勝 中村留貴子 菊地孝則 白波瀬丈一郎 | | | | | | | | | | | | |
| 講師 | 討論者 | テーマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 狩野力八郎 | 生地新 | 乳幼児発達研究と精神分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北山修 | 菊地孝則 | メタファーの源泉としての発達理論 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2010年 3月31日 | <table border="1"> <tr> <td>福本修</td> <td>高野晶 貞安元</td> <td>乳児観察と現代の英国精神分析</td> </tr> <tr> <td>木部則雄</td> <td>森さち子</td> <td>乳幼児観察</td> </tr> <tr> <td>齋藤久美子</td> <td>深津千賀子 白波瀬丈一郎</td> <td>臨床過程と発達過程の相互参照</td> </tr> <tr> <td>藤山直樹</td> <td>相田信男</td> <td>精神分析にとって観察研究とは何か</td> </tr> <tr> <td>衣笠隆幸</td> <td>奥寺崇</td> <td>乳幼児発達研究と精神分析</td> </tr> <tr> <td>丸田俊彦</td> <td>福本修</td> <td>乳幼児研究と大人の精神療法</td> </tr> <tr> <td>岡野憲一郎</td> <td>小川豊昭</td> <td>精神分析における陽性情動（R.エムディ）の意義</td> </tr> </table> | 福本修 | 高野晶 貞安元 | 乳児観察と現代の英国精神分析 | 木部則雄 | 森さち子 | 乳幼児観察 | 齋藤久美子 | 深津千賀子 白波瀬丈一郎 | 臨床過程と発達過程の相互参照 | 藤山直樹 | 相田信男 | 精神分析にとって観察研究とは何か | 衣笠隆幸 | 奥寺崇 | 乳幼児発達研究と精神分析 | 丸田俊彦 | 福本修 | 乳幼児研究と大人の精神療法 | 岡野憲一郎 | 小川豊昭 | 精神分析における陽性情動（R.エムディ）の意義 | • 精神分析 医学生・研修医セミナー 7月19日（日）20日（月・祝） 於：東京大学教育研究棟 講師 藤山直樹 菊地孝則 狩野力八郎 北山修 高野晶 衣笠隆幸 白波瀬丈一郎 参加人数：28名 | 精神分析学研究 目的：精神分析療法及び精神分析的治療法における治療機序を明らかにする 担当：狩野力八郎 4月より月1回 於：財団研修室 参加人数：10名 | 理事 岩崎徹也 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 深津千賀子 丸田俊彦 監事 高野晶 小池小百合 任期：2008年4月1日～2010年3月31日 |
| 福本修 | 高野晶 貞安元 | 乳児観察と現代の英国精神分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木部則雄 | 森さち子 | 乳幼児観察 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 齋藤久美子 | 深津千賀子 白波瀬丈一郎 | 臨床過程と発達過程の相互参照 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 藤山直樹 | 相田信男 | 精神分析にとって観察研究とは何か | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 衣笠隆幸 | 奥寺崇 | 乳幼児発達研究と精神分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 丸田俊彦 | 福本修 | 乳幼児研究と大人の精神療法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岡野憲一郎 | 小川豊昭 | 精神分析における陽性情動（R.エムディ）の意義 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 参加人数：99名 体験グループ・セミナー(第15期) 5月より全10回 於：財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数：26名 グループ理論研究セミナー（第14期） 5月より全10回 於：財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数：38名 力動的家族療法セミナー（第7期） 6月より全10回 於：財団研修室 講師 中村伸一 中釜洋子 狩野力八郎 福山和女 吉川悟 参加人数：21名 小寺臨床講読セミナー 4月より全12回 於：財団研修室 現代クライン派の系統的的理解（第II期）：1. 基本概念と展開 講師 福本修 平井正三 参加人数：21名 小寺臨床講読ワークショップ 4月より全12回 於：財団研修室 フロイトの系統的的理解（第II期）：1. 精神分析の発見（1895-1910） 講師 福本修 参加人数：12名 | • Christopher Bollas先生講演会 「Forms of the Unconscious」 11月12日（木） 於：野口英世記念館 講堂 講師 Christopher Bollas 狩野力八郎 深津千賀子 共催 慶応心理臨床セミナー 小寺記念精神分析研究財団 参加人数：158名 • 第23回精神療法セミナー 2010年3月22日（月・祝） 於：津田ホール 間主観的感性と臨床 講師 丸田俊彦 狩野力八郎 森さち子 参加人数：34名 | 事務局長 大原眞由美 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 財団を会場にして開催した主要な出来事 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●インスティテュート東京支部例会（4/4、5/2、7/4、9/5、10/3、12/5、2/6） ●協会アドバンスセミナー（8/29・30） ●精神分析セミナー 4月～全25回 スーパービジョンコーナー ●ロールシャッハテスト研究会（全9回） ●対象関係論東京研究会（9回） ●I-FEEL研究会（1回） ●NPPS（7回） ●MBT研究会（2回） ●金曜日心理研究会（3回） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成（右：申請者 左：助成交付目的） 及び 国際交流・研究事業 研究事業 | | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|---|---|-----|--|------|--|--|--------|--|------|--------|------------|------|------|--------|-----|-----|--------|------|------|---|------|------|-------------|-------|-------|-------------------------------|-----|-----|----------------|------|-----|--------------|-------|-----|------------------|--|--|
| | 通年研修 | | 単発研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2010年度 (平成22年度) | 精神分析研究セミナー(第16期) 5月より全10回 於：津田ホール(12/18のみ野口記念館) テーマ：『今どきのうつ』と精神分析 司会 狩野力八郎 | | ・精神分析 医学生・研修医セミナー 7月18日(日)19日(月・祝) 於：東京大学教育研究棟 講師 藤山直樹 菊地孝則 狩野力八郎 北山修 白波瀬丈一郎 高野晶 参加人数：22名 | | 精神分析学研究 目的：精神分析療法及び精神分析的治療法における治療機序を明らかにする 担当：狩野力八郎 4月より月1回 於：財団研修室 参加人数：10名 | | 理事長 狩野力八郎 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 丸田俊彦 深津千賀子 福本修 監事 高野晶 小池小百合 任期：2010年4月1日～2012年3月31日 教育研修委員 狩野力八郎 島村三重子 相田信男 大野裕 北山修 藤山直樹 岡野憲一郎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2010年 4月1日～ 2011年 3月31日 | <table border="1"> <tr> <th>講師</th> <th>討論者</th> <th>テーマ</th> </tr> <tr> <td>狩野力八郎</td> <td>森さち子</td> <td>精神分析の貢献</td> </tr> <tr> <td></td> <td>白波瀬丈一郎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>松木邦裕</td> <td>白波瀬丈一郎</td> <td>健康な悲しみと抑うつ</td> </tr> <tr> <td>木部則雄</td> <td>菊地孝則</td> <td>うつと自閉症</td> </tr> <tr> <td>北山修</td> <td>奥寺崇</td> <td>うつと罪悪感</td> </tr> <tr> <td>小川豊昭</td> <td>相田信男</td> <td>難治性慢性抑うつ：ナルシスティック・ デプレッションとスキゾイド・デプレッ ションの分析的治療</td> </tr> <tr> <td>丸田俊彦</td> <td>村岡倫子</td> <td>ナルキッソスと美しき湖</td> </tr> <tr> <td>齋藤久美子</td> <td>深津千賀子</td> <td>「うつ」事例の臨床過程に潜む心理 力動的コンテキスト</td> </tr> <tr> <td>福本修</td> <td>高野晶</td> <td>メランコリーと抑鬱ポジション</td> </tr> <tr> <td>藤山直樹</td> <td>生地新</td> <td>うつ病について考えること</td> </tr> <tr> <td>岡野憲一郎</td> <td>福本修</td> <td>「うつの軽症化」をどう捉えるか？</td> </tr> </table> | 講師 | 討論者 | テーマ | 狩野力八郎 | 森さち子 | 精神分析の貢献 | | 白波瀬丈一郎 | | 松木邦裕 | 白波瀬丈一郎 | 健康な悲しみと抑うつ | 木部則雄 | 菊地孝則 | うつと自閉症 | 北山修 | 奥寺崇 | うつと罪悪感 | 小川豊昭 | 相田信男 | 難治性慢性抑うつ：ナルシスティック・ デプレッションとスキゾイド・デプレッ ションの分析的治療 | 丸田俊彦 | 村岡倫子 | ナルキッソスと美しき湖 | 齋藤久美子 | 深津千賀子 | 「うつ」事例の臨床過程に潜む心理 力動的コンテキスト | 福本修 | 高野晶 | メランコリーと抑鬱ポジション | 藤山直樹 | 生地新 | うつ病について考えること | 岡野憲一郎 | 福本修 | 「うつの軽症化」をどう捉えるか？ | ・英国の児童分析のUP-TO-DATE 12月23日(木・祝) 於：TKP代々木ビジネスセンター 講師 脇谷順子 木部則雄 福本修 小倉清 参加人数：122名 ・第24回精神療法セミナー 2011年3月21日(月・祝)→2011年8月28日(日)に延期 於：津田ホール→ホテルJALシティ四谷東京に変更 解釈を越えた何か出会いのモーメントからの展開 講師 丸田俊彦 狩野力八郎 森さち子 参加人数：38名 | 評議員 乾吉佑 大野裕 北山修 櫻井英樹 辻洋一 福山勝 菊地孝則 中村留貴子 白波瀬丈一郎 事務局長 大原真由美 |
| 講師 | 討論者 | テーマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 狩野力八郎 | 森さち子 | 精神分析の貢献 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 白波瀬丈一郎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 松木邦裕 | 白波瀬丈一郎 | 健康な悲しみと抑うつ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木部則雄 | 菊地孝則 | うつと自閉症 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北山修 | 奥寺崇 | うつと罪悪感 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小川豊昭 | 相田信男 | 難治性慢性抑うつ：ナルシスティック・ デプレッションとスキゾイド・デプレッ ションの分析的治療 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 丸田俊彦 | 村岡倫子 | ナルキッソスと美しき湖 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 齋藤久美子 | 深津千賀子 | 「うつ」事例の臨床過程に潜む心理 力動的コンテキスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福本修 | 高野晶 | メランコリーと抑鬱ポジション | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 藤山直樹 | 生地新 | うつ病について考えること | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岡野憲一郎 | 福本修 | 「うつの軽症化」をどう捉えるか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第16期) 5月より全10回 於：財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数：29名 グループ理論研究セミナー(第15期) 5月より全10回 於：財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数：37名 力動的家族療法セミナー(第8期) 6月より全10回 於：財団研修室 講師 中村伸一 中釜洋子 狩野力八郎 福山和女 参加人数：28名 小寺臨床講読セミナー 4月より全11回(3月は中止) 於：財団研修室 現代クライン派の系統的理解(第II期)：2.精神病理の把握と介入 講師 福本修 平井正三 参加人数：21名 小寺臨床講読ワークショップ 4月より全12回 於：財団研修室 フロイトの系統的理解(第II期)：2.精神分析の完成期 (1911-1920) 講師 福本修 参加人数：14名 精神分析的な心理療法セミナー(新規企画) 4月より全10回 於：財団研修室 講師 中村留貴子 狩野力八郎 藤山直樹 深津千賀子 妙木浩之 参加人数：8名 | 財団を会場にして開催した主要な出来事 <ul style="list-style-type: none"> ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●インスティテュート東京支部例会 (4/3、5/1、7/3、9/4、10/2、11/6、12/4、2/5) ●協会アドバンスセミナー (8/29) ●精神分析セミナー 4月～全25回 スーパービジョンコーナー ●ロールシャッハテスト研究会(全6回) ●対象関係論東京研究会(12回) ●I-FEEL研究会(2回) ●NPPS(1回) ●MBT研究会(1回) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 研究事業 | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | |
|--------------------|---|-----------|---|---|---|---|
| | 通年研修 | | 単発研修 | | | |
| 2011年度 (平成23年度) | 精神分析研究セミナー(第17期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:精神分析からみた認知行動療法 司会 狩野力八郎 | | | ・精神分析 医学生・研修医セミナー 7月17日(日)18日(月・祝) 於:財団研修室 講師 北山修 高野晶 狩野力八郎 藤山直樹 菊地孝則 白波瀬丈一郎 参加人数:28名 | 精神分析学研究 目的:精神分析療法及び精神分析的療法における治療機序を明らかにする 担当:狩野力八郎 4月より月1回 於:財団研修室 参加人数:10名 | 理事長 狩野力八郎 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 丸田俊彦 深津千賀子 福本修 監事 高野晶 小池小百合 任期:2010年4月1日～2012年3月31日 教育研修委員 狩野力八郎 島村三重子 相田信男 大野裕 北山修 藤山直樹 岡野憲一郎 菊地孝則 福本修 白波瀬丈一郎 奥寺崇 木部則雄 館哲朗 事務局長 大原眞由美 |
| 2011年 4月1日～ | 講師 狩野力八郎 | 討論者 高野晶 | ・精神療法セミナー 「関係性精神療法と臨床」(新規企画) 7月24日(日) 於:ホテルJALシティ四谷東京 講師 岡野憲一郎 富樫公一 吾妻壮 参加人数:50名 ・英国の児童分析アセスメント(新規企画) 12月23日(金・祝) 於:津田ホール 講師 鶴飼奈津子 木部則雄 福本修 小倉清 参加人数:99名 ・第25回精神療法セミナー 2012年3月20日(月・祝) 於:津田ホール 治療関係と変化プロセス『解釈を越えて』とグレーテル 講師 丸田俊彦 狩野力八郎 森さち子 参加人数:60名 | | | |
| 2012年 3月31日 | 司会 狩野力八郎 | テーマ | | | | |
| | 講師 松木邦裕 | 討論者 岡田暁宣 | | | | |
| | 講師 奥寺崇 | 討論者 相田信男 | | | | |
| | 講師 藤山直樹 | 討論者 森さち子 | | | | |
| | 講師 丸田俊彦 | 討論者 鈴木智美 | | | | |
| | 講師 福本修 | 討論者 生地新 | | | | |
| | 講師 齋藤久美子 | 討論者 深津千賀子 | | | | |
| | 講師 北山修 | 討論者 中村留貴子 | | | | |
| | 講師 白波瀬丈一郎 | 討論者 木部則雄 | | | | |
| | 講師 岡野憲一郎 | 討論者 貞安元 | | | | |
| | 参加人数:125名 | | | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第17期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:24名 | | | | | |
| | グループ理論研究セミナー(第16期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:39名 | | | | | |
| | 力動的家族療法セミナー(第9期) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 中村伸一 中益洋子 狩野力八郎 福山和女 参加人数:28名 | | | | | |
| | 小寺臨床講義セミナー 4月より全12回 於:財団研修室 現代クライン派の系統的的理解(第II期):3.精神分析の主題の展開 講師 福本修 平井正三 参加人数:20名 | | | | | |
| | 小寺臨床講義ワークショップ 4月より全12回 於:財団研修室 フロイトの系統的的理解(第II期):3.新たな分析的諸見地 (1920-1939) 講師 福本修 参加人数:12名 | | | | | |
| | 精神分析的心理学療法セミナー 4月より全10回 於:財団研修室 講師 中村留貴子 福本修 狩野力八郎 藤山直樹 妙木浩之 参加人数:10名 | | | | | |
| | 参加人数:125名 | | | | | |
| | 財団を会場にして開催した主要な出来事 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本精神分析協会東京大会 12月 ● インスティテュート東京支部例会 (5/7、7/2、10/1、11/6、1/7、2/4、3/3) ● 協会アドバンスセミナー (8/21、1/15、3/1) ● 精神分析セミナー 4月～全25回 スーパービジョンコーナー ● ロールシャッハテスト研究会 (全10回) ● 対象関係論東京研究会 (11回) ● メンタライゼーション研究会 (2回) | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 研究事業 | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | | | |
|--------------------|---|------------------------------|---|--|---|--|--|
| | 通年研修 | 単発研修 | | | | | |
| 2012年度 (平成24年度) | 精神分析研究セミナー(第18期) 5月より全10回 於:津田ホール(5/19のみ明治記念館) テーマ:トラウマと葛藤 司会 狩野力八郎 | | 精神分析学 医学生・研修医セミナー 7月15日(日)16日(月・祝) 於:財団研修室 講師 北山修 菊地孝則 狩野力八郎 藤山直樹 白波瀬丈一郎 高野晶 参加人数:28名 関係精神療法セミナー 「エナクトメントと至的応答性」 7月22日(日) 於:津田ホール 講師 岡野憲一郎 富樫公一 吾妻壮 参加人数:42名 被虐待児と発達障害への精神分析アプローチ 12月23日(日) 於:津田ホール 講師 平井正三 木部則雄 小倉清 福本修 参加人数:106名 第26回精神療法セミナー 3月20日(水・祝) 於:ホテルJALシティ四谷東京 間主観的臨床への軌跡—かかわり合いとそのリスク— 講師 丸田俊彦 狩野力八郎 松本智子 森さち子 参加人数:48名 | 精神分析学 研究 目的:精神分析療法及び精神分析的精神療法における治療機序を明らかにする 担当:狩野力八郎 4月より月1回 於:財団研修室 参加人数:10名 | 理事長 狩野力八郎 常務理事 島村三重子 理事 岩崎徹也 衣笠隆幸 須田唯雄 目黒克己 相田信男 深津千賀子 丸田俊彦 福本修 監事 高野晶 小池小百合 任期:2012年4月1日～2013年3月31日 教育研修委員 狩野力八郎 島村三重子 相田信男 大野裕 北山修 藤山直樹 岡野憲一郎 菊地孝則 福本修 白波瀬丈一郎 奥寺崇 木部則雄 館哲朗 事務局長 大原真由美 財団を会場にして開催した主要な出来事 <ul style="list-style-type: none"> ●日本精神分析協会 育成セミナー 9月 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●インスティテュート東京支部例会 (4/7、7/7、9/1、10/6、1/5、2/2) ●協会アドバンスセミナー (4/15、5/20、9/16、1/20、2/17、3/17) ●精神分析セミナー 6月～全13回 スーパービジョンコーナー ●ロールシャッハテスト研究会 (全10回) ●対象関係論東京研究会 (8回) ●メンタライゼーション研究会 (11回) | | |
| 2012年 4月1日～ | 講師 狩野力八郎 奥寺崇 | ト라우マ、欲動、葛藤 | | | | | |
| 2013年 3月31日 | 松木邦裕 中村留貴子 | 認識すること、哀悼すること - 心的外傷の場合 - | | | | | |
| | 北山修 岡田暁宣 | 破られた「見るなの禁止」 | | | | | |
| | 衣笠隆幸 高野晶 | トラウマと葛藤 | | | | | |
| | 丸田俊彦 生地新 | トラウマと葛藤 | | | | | |
| | 福本修 白波瀬丈一郎 | 心的外傷とアルファ機能論 | | | | | |
| | 真安元 深津千賀子 | トラウマと愛着葛藤 | | | | | |
| | 菊地孝則 木部則雄 | 病理的組織化とトラウマ | | | | | |
| | 藤山直樹 鈴木智美 | こころを組織するものとしての外傷と本能 | | | | | |
| | 岡野憲一郎 森さち子 | 心的ストレスの文脈でのトラウマ | | | | | |
| | 参加人数:99名 | | | | | | |
| | 体験グループ・セミナー(第18期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:26名 | | | | | | |
| | グループ理論研究セミナー(第17期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:45名 | | | | | | |
| | 力動的家族療法セミナー(第10期) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 中村伸一 中益洋子 狩野力八郎 福山和女 岩井昌也 野末武義 参加人数:17名 | | | | | | |
| | 小寺臨床講義セミナー 4月より全12回 於:財団研修室 現代クライン派の系統的理解(第II期):4.精神分析の展開過程 講師 福本修 平井正三 参加人数:15名 | | | | | | |
| | 小寺臨床講義ワークショップ 4月より全12回 於:財団研修室 フロイトの系統的理解(第III期):1.精神分析の発見 (1895-1910) 講師 福本修 参加人数:14名 | | | | | | |
| | 精神分析的心理学療法セミナー 4月より全10回 於:財団研修室 講師 中村留貴子 狩野力八郎 深津千賀子 藤山直樹 乾吉佑 妙木浩之 参加人数:9名 | | | | | | |
| | 臨床家のための、産業メンタルヘルス・セミナー(新規企画) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 白波瀬丈一郎 廣尚典 辻廣享子 高野知樹 乾吉佑 三柴丈典 佐渡充洋 参加人数:25名 | | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成 (右:申請者 左:助成交付目的) 及び 国際交流・研究事業 | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|---|--|--|--|-------|------|-------------|------|-----|------------------|--|--|--|-----|------|-----------------|------|------|---------------------------|------|------|-----------------|------|--------|-----------|-------|-----|--------------------------|--|---|
| | 通年研修 | 単発研修 | 国際交流 | 2013年4月1日～ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2013年度 (平成25年度) | 精神分析研究セミナー (第19期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:Narcissism Now 司会 狩野力八郎 | | Naomi Shavit先生をお迎えして 4月2日(火) 於:財団研修室 講師 Naomi Shavit 福本修 参加人数:6名 | 一般財団法人への移行により理事・評議員・監事の任期変更 2013年4月1日～ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2013年 4月1日～ 2014年 3月31日 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>講師</th> <th>討論者</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狩野力八郎</td> <td>岡田暁宜</td> <td>スキゾイドとナルシズム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>貞安元</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 講師 | 討論者 | テーマ | 狩野力八郎 | 岡田暁宜 | スキゾイドとナルシズム | | 貞安元 | | Catalina Bronstein先生講演会 6月24日(月) 於:財団研修室 誰も死んでない!青年期におけるトラウマ 講師 Catalina Bronstein 福本修 共催 日本精神分析協会インスティテュート東京支部 参加人数:33名 | Naomi Shavit先生をお迎えして 4月2日(火) Catalina Bronstein先生講演会 6月24日(月) Gary Grossman先生講演会 11月25日(月) | 理事 狩野力八郎 常務理事 島村三重子 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講師 | 討論者 | テーマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 狩野力八郎 | 岡田暁宜 | スキゾイドとナルシズム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 貞安元 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tbody> <tr> <td>北山修</td> <td>中村留貴子</td> <td>自己愛の幻滅～実現の「難しさ」</td> </tr> <tr> <td>妙木浩之</td> <td>奥寺崇</td> <td>自己愛と万能感</td> </tr> <tr> <td>松木邦裕</td> <td>生地新</td> <td>生きることとNarcissism</td> </tr> <tr> <td>古賀靖彦</td> <td>相田信男</td> <td>クライン派のNarcissism論</td> </tr> <tr> <td>福本修</td> <td>森さち子</td> <td>さまざまな精神病理とナルシズム</td> </tr> <tr> <td>丸田俊彦</td> <td>菊地孝則</td> <td>"Maturation Morality"を越えて</td> </tr> <tr> <td>木部則雄</td> <td>小川豊昭</td> <td>自閉症スペクトラム障害と自己愛</td> </tr> <tr> <td>藤山直樹</td> <td>白波瀬丈一郎</td> <td>ナルシズムと心的死</td> </tr> <tr> <td>岡野憲一郎</td> <td>高野晶</td> <td>「獲得する病理」としての自己愛パーソナリティ障害</td> </tr> </tbody> </table> | 北山修 | 中村留貴子 | 自己愛の幻滅～実現の「難しさ」 | 妙木浩之 | 奥寺崇 | 自己愛と万能感 | 松木邦裕 | 生地新 | 生きることとNarcissism | 古賀靖彦 | 相田信男 | クライン派のNarcissism論 | 福本修 | 森さち子 | さまざまな精神病理とナルシズム | 丸田俊彦 | 菊地孝則 | "Maturation Morality"を越えて | 木部則雄 | 小川豊昭 | 自閉症スペクトラム障害と自己愛 | 藤山直樹 | 白波瀬丈一郎 | ナルシズムと心的死 | 岡野憲一郎 | 高野晶 | 「獲得する病理」としての自己愛パーソナリティ障害 | 精神分析学研究 目的:精神分析療法及び精神分析的治療法における治療機序を明らかにする 担当:狩野力八郎 4月より月1回 於:財団研修室 参加人数:10名 | 理事 相田信男 福本修 白波瀬丈一郎 藤山直樹 須田唯雄 丸田俊彦 深津千賀子 目黒克己 任期:2013年4月1日～2015年3月31日 選任後に到来する2回目の評議員会の終結まで |
| 北山修 | 中村留貴子 | 自己愛の幻滅～実現の「難しさ」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 妙木浩之 | 奥寺崇 | 自己愛と万能感 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 松木邦裕 | 生地新 | 生きることとNarcissism | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 古賀靖彦 | 相田信男 | クライン派のNarcissism論 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福本修 | 森さち子 | さまざまな精神病理とナルシズム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 丸田俊彦 | 菊地孝則 | "Maturation Morality"を越えて | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木部則雄 | 小川豊昭 | 自閉症スペクトラム障害と自己愛 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 藤山直樹 | 白波瀬丈一郎 | ナルシズムと心的死 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岡野憲一郎 | 高野晶 | 「獲得する病理」としての自己愛パーソナリティ障害 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 参加人数:129名 体験グループ・セミナー(第19期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:25名 グループ理論研究セミナー (第18期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:39名 力動的家族療法セミナー (第11期) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 中村伸一 狩野力八郎 野末武義 福山和女 岩井昌也 遊佐安一郎 参加人数:12名 小寺臨床講義セミナー 4月より全12回 於:財団研修室 現代クライン派の系統的的理解(第III期):1.基本概念と展開 講師 福本修 平井正三 参加人数:23名 小寺臨床講義ワークショップ 4月より全12回 於:財団研修室 フロイトの系統的的理解(第III期):2.精神分析の完成期(1911-1920) 講師 福本修 参加人数:16名 精神分析的心理学セミナー 4月より全10回 於:財団研修室 講師 中村留貴子 狩野力八郎 妙木浩之 藤山直樹 深津千賀子 福本修 参加人数:9名 臨床家のための、産業メンタルヘルス・セミナー 6月より全10回 於:財団研修室(6月～8月) 於:慶應義塾大学ストレス研究センター(9月～2014年3月) 講師 白波瀬丈一郎 辻廣亨子 乾吉佑 三柴丈典 秋山義之 平島奈津子 松山公一 参加人数:14名 | 精神分析 医学生・研修医セミナー 7月14日(日)15日(月・祝) 於:財団研修室 講師 北山修 奥寺崇 池田暁史 皆川英明 高野晶 藤山直樹 白波瀬丈一郎 参加人数:19名 関係性精神療法セミナー 「動機づけシステムと治療作用論」 7月21日(日) 於:津田ホール 講師 岡野憲一郎 富樫公一 吾妻壮 参加人数:20名 Gary Grossman先生講演会 11月25日(月) 於:財団研修室 21世紀における精神分析と同性愛 講師 Gery Grossman 福本修 共催 日本精神分析協会インスティテュート東京支部 参加人数:16名 「青年期の精神分析的心理学」 英国タヴィストック・モデル 12月13日(月・祝) 於:津田ホール 講師 飛谷渉 木部則雄 福本修 小倉清 参加人数:70名 小寺記念精神分析研究財団設立20周年・小此木啓吾先生没後10年記念学術集会 2014年2月11日(火・祝) 於:明治記念館 講師 相田信男 狩野力八郎 小倉清 丸田俊彦 鈴木純一 白波瀬丈一郎 中村伸一 乾吉佑 松木邦裕 藤山直樹 福本修 岡野憲一郎 北山修 妙木浩之 参加人数:251名 第27回精神療法セミナー 2014年3月21日(金・祝) 於:ホテルJALシティ四谷東京 関わり合いとそのリスクー間主観性からの展開ー 講師 丸田俊彦 相田信男 森さち子 小野田暁子 住山真由美 志村優子 参加人数:56名 | 研究事業 | 評議員 乾吉佑 菊地孝則 岩崎徹也 辻洋一 大野裕 中村留貴子 岡野憲一郎 土方健男 北山修 福山勝 監事 高野晶 小池小百合 任期:2013年4月1日～2017年3月31日 選任後に到来する4回目の評議員会の終結まで 教育研修委員 狩野力八郎 福本修 島村三重子 白波瀬丈一郎 相田信男 奥寺崇 北山修 木部則雄 藤山直樹 脇谷順子 岡野憲一郎 妙木浩之 菊地孝則 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 事務局長 大原眞由美 財団を会場にして開催した主要な出来事 <ul style="list-style-type: none"> ●日本精神分析協会 育成セミナー 9月 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●インスティテュート東京支部例会 (7/6、9/7、10/5、11/2、12/7、2/1) ●協会アドバンスセミナー (4/21、9/15、10/20、1/19、3/16) ●精神分析セミナー 5月～全25回 スーパービジョンコーナー ●ロールシャハカンファレンス (3回) ●対象関係論東京研究会 (10回) ●メンタライゼーション研究会 (11回) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成 (右:申請者 左:助成交付目的) 及び | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 |
|----------------------------------|---|--|--|---|
| | 通年研修 | 単発研修 | 国際交流・研究事業 | |
| 2014年度 (平成26年度) | 精神分析研究セミナー (第20期) 5月より全10回 於:津田ホール テーマ:マイ・メンター 司会 狩野力八郎 2月のみ藤山直樹 | | 国際交流 Bernard Roberts先生講演会 4月5日(土) James L. Fosshage先生をお迎えして 5月6日(火・休日) | 理事長 狩野力八郎 常務理事 島村三重子 理事 相田信男 福本修 白波瀬丈一郎 藤山直樹 須田唯雄 丸田俊彦 深津千賀子 目黒克己 任期:2013年4月1日～2015年3月31日 2014年7月丸田俊彦先生ご逝去 評議員 乾吉佑 菊地孝則 岩崎徹也 辻洋一 大野裕 中村留貴子 岡野憲一郎 土方健男 北山修 福山勝 監事 高野晶 小池小百合 任期:2013年4月1日～2017年3月31日 教育研修委員 狩野力八郎 福本修 島村三重子 白波瀬丈一郎 相田信男 奥寺崇 北山修 木部則雄 藤山直樹 脇谷順子 岡野憲一郎 妙木浩之 菊地孝則 事務局長 大原眞由美 財団を会場にして開催した主要な出来事 ●日本精神分析協会 育成セミナー 9月 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●インスティテュート東京支部例会 (7/5、9/6、10/4、2/7) ●協会アドバンスセミナー (4/20、5/18、9/21、1/18、3/8) ●精神分析セミナー 5月～全20回 スーパービジョンコー-ス ●ロールシャハカンファレンス (5回) ●対象関係論東京研究会 (12回) ●メンタライゼーション研究会 (13回) ●東大若手精神科医に対するグループ S V (7回) ●I Feel Pictures グループ (2回) |
| 2014年 4月1日～ 2015年 3月31日 | 講師 討論者 テーマ 丸田俊彦 森さち子 マイ・インターサブジェクティビティ 松木邦裕 中村留貴子 精神分析における師弟関係と私 衣笠隆幸 高野晶 私が出会った人々 相田信男 権成鉦 マイ・メンターをめぐって、あなたに訊きたい 鈴木智美 生地新 精神分析を体験すること 福本修 小川豊昭 海外での多種多様な研修機会の中で 藤山直樹 白波瀬丈一郎 メンターとは何だろうか 北山修 奥寺崇 「抱える環境」とその喪失 古賀靖彦 菊地孝則 マイ・メンターズ 岡野憲一郎 深津千賀子 メンターの父性性と母性性 岡田暁宜 参加人数:75名 体験グループ・セミナー(第20期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:22名 グループ理論研究セミナー (第19期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:37名 力動的家族療法セミナー (第12期) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 中村伸一 遊佐安一郎 野末武義 岩井昌也 参加人数:17名 小寺臨床講義セミナー 4月より全12回 於:財団研修室 現代クライン派の系統的理解(第III期):2.クラインからクライン派へ 講師 福本修 参加人数:23名 小寺臨床講義ワークショップ 4月より全12回 於:財団研修室 フロイトの系統的理解(第III期):3.新たな分析的諸見地 (1920-1939) 講師 福本修 参加人数:21名 精神分析的心理療法セミナー 4月より全10回 於:財団研修室 講師 中村留貴子 妙木浩之 藤山直樹 深津千賀子 松木邦裕 参加人数:9名 臨床家のための、産業メンタルヘルス・セミナー 6月より全10回 於:慶應義塾大学ストレス研究センター 講師 白波瀬丈一郎 松山公一 秋山義之 乾吉佑 辻廣亨子 森兎爾 三柴丈典 参加人数:12名 | 単発研修 精神分析マスタークラス研修会 Bernard Roberts先生講演会 4月5日(土) 於:財団研修室 講師 Bernard Roberts 福本修 木部則雄 参加人数:24名 関係性精神療法セミナー 「夢の構成機能」James L. Fosshage先生をお迎えして 5月6日(火・休日) 於:ホテルJALシティ四谷 講師 James L. Fosshage 岡野憲一郎 富樫公一 吾妻壮 参加人数:31名 精神分析 医学生・研修医セミナー 7月20日(日)21日(月・祝) 於:財団研修室 講師 北山修 菊地孝則 池田暁史 藤山直樹 白波瀬丈一郎 高野晶 参加人数:19名 「破綻的な少年の病理理解と介入をめぐる現代的議論」 クライン派はクライン派的解釈を行うべきなのだろうか? 12月23日(火・祝) 於:津田ホール 講師 西村理晃 平井正三 木部則雄 福本修 小倉清 参加人数:73名 第28回精神療法セミナー 2015年3月21日(土・祝) 於:津田ホール 精神分析的に問い続ける-丸田俊彦の臨床感覚を起点として- 講師 森さち子 貞安元 松本智子 福山修 参加人数:32名 | 研究事業 精神分析学研究 目的:精神分析療法及び精神分析的な精神療法における治療機序を明らかにする 担当:狩野力八郎 4月より月1回 於:財団研修室 参加人数:10名 | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的) 及び | 役員・関連委員及び事務局 | |
|----------------------------------|---|------|---|--|--|
| | 通年研修 | 単発研修 | 国際交流・研究事業・出版広報事業 | 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 | |
| 2015年度 (平成27年度) | 精神分析研究セミナー(第21期) 5月より全10回 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター テーマ:私のフロイト 司会 藤山直樹 白波瀬丈一郎 講師 討論者 テーマ 松木邦裕 高野晶 フロイトと転移 小川豊昭 福本修 運命の反復とフロイト 藤山直樹 白波瀬丈一郎 フロイトはどれくらい 皆川英明 「精神分析家」だったのか 岡田暁宜 池田政俊 「フロイト」の中の私、私の中の「フロイト」 北山修 中村留貴子 「あれかこれか」と「あれとこれと」 鈴木智美 生地新 フロイトの書き方に出会う 福本修 森さち子 精神療法家のフロイト、 妙木浩之 精神分析家のフロイト 衣笠隆幸 小林要二 フロイトの基本姿勢 岡野憲一郎 村岡倫子 私のフロイト 古賀靖彦 奥寺崇 フロイトの晩年 参加人数:85名 | | ・クリニカル・セミナー(新規企画) 4月3日(金) 於:財団研修室 講師 Stephen Dreyer 通訳:庄司剛 症例発表者:岩寺良太 参加人数:18名 ・マスタークラス研修会 4月5日(日) 於:SCビル2F 会議室 講師 Naomi Shavit 福本修 参加人数:14名 ・精神分析 医学生・研修医セミナー 7月19日(日)20日(月・祝) 於:財団研修室 講師 菊地孝則 白波瀬丈一郎 藤山直樹 北山修 高野晶 庄司剛 参加人数:11名 ・関係性精神療法セミナー(第5回) 「外的現実と心的現実」—その臨床をめぐる— 7月26日(日) 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 講師 岡野憲一郎 富樫公一 吾妻壮 参加人数:32名 ・R. D. Hinshelwood教授との臨床セミナー 10月11日(日) 於:財団研修室 講師 R. D. Hinshelwood 福本修 皆川英明 参加人数:40名 ・R. D. Hinshelwood教授とのピオン研究 10月12日(月・祝) 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 講師 R. D. Hinshelwood 相田信男 奥寺崇 木部則雄 平井正三 福本修 参加人数:80名 ・「タヴィストックセミナー」(第6回) —発達障害の疑いのある子どもと家族の英国での アセスメント&支援、日本でのフォローアップ— 12月23日(木・祝) 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 講師 鶴飼奈津子 木部則雄 福本修 小倉清 参加人数:88名 | Stephen Dreyer先生セミナー 4月3日(金) Naomi Shavit先生をお迎えして 4月5日(日) R. D. Hinshelwood先生講演会 10月11日(日)12日(月・祝) 財団ホームページの公開(新規)4月1日 担当:福本修 国際交流 出版広報事業 | 2015年4月11日狩野先生逝去により理事長変更 2015年(平成27年)5月12日付け 藤山直樹 理事長就任 理事長 藤山直樹 常務理事 島村三重子 理事 相田信男 福本修 白波瀬丈一郎 目黒克己 須田唯雄 菊地孝則 深津千賀子 松木邦裕 任期:2015年6月28日~2017年 選任後に到来する2回目の評議員会の終結まで 評議員 乾吉佑 辻洋一 岩崎徹也 中村留貴子 大野裕 土方健男 岡野憲一郎 福山勝 北山修 中村伸一 任期:2013年4月1日~2017年 選任後に到来する4回目の評議員会の終結まで 監事 高野晶 小池小百合 任期:2013年4月1日~2017年 選任後に到来する4回目の評議員会の終結まで 教育研修委員 藤山直樹 島村三重子 白波瀬丈一郎 相田信男 福本修 岡野憲一郎 木部則雄 奥寺崇 脇谷順子 菊地孝則 妙木浩之 北山修 中村伸一 国際交流委員(新規) 福本修 奥寺崇 木部則雄 事務局長 大原眞由美 財団を会場にして開催した主要な出来事 <ul style="list-style-type: none"> ●日本精神分析協会 育成セミナー 9月 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●インスティテュート東京支部例会 (4/4,5/2,7/4,9/5,10/3,11/7,2/6) ●JPSアドバンストセミナー (5/17,7/19,8/16,1/17,2/21,3/20) ●精神分析セミナー 4月~全25回 スーパービジョンコーナー ●ロールシャハカンファレンス (5回) ●ロールシャハ法基礎セミナー (3回) ●対象関係論東京研究会 (11回) ●メンタライゼーション研究会 (12回) ●東大若手精神科医に対するグループ S.V (11回) ●力動フォーミュレーション研究会 (6回) ●児童青年精神分析的な心理療法研究会 (9回) ●I Feel Pictures グループ (1回) |
| 2015年 4月1日~ 2016年 3月31日 | 体験グループ・セミナー(第21期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:23名 グループ理論研究セミナー(第20期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:43名 力動的家族療法セミナー(第13期) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 中村伸一 野末武義 岩井昌也 参加人数:15名 小寺臨床講読セミナー 4月より全12回 於:財団研修室 現代クライン派の系統的理解(第三期):3. クラインの諸主題 講師 福本修 参加人数:21名 小寺臨床講読ワークショップ 4月より全12回 於:財団研修室 フロイトの系統的理解(第四期):1. 精神分析の発見 (1895-1910) 講師 福本修 参加人数:26名 精神分析的な心理療法セミナー 4月より全10回 於:財団研修室 講師 中村留貴子 妙木浩之 深津千賀子 平井正三 藤山直樹 湊真季子 参加人数:9名 臨床家のための、産業メンタルヘルス・セミナー (隔年開催のため本年度は開催せず) | | | | |

| 年度 | 小寺記念精神分析研究財団主催研修 | | 研究助成(右:申請者 左:助成交付目的)及び 国際交流・研究事業・出版広報事業 | 役員・関連委員及び事務局 事務所所在地 財団に関連する主要な出来事 |
|----------------------------------|--|------|---|--|
| | 通年研修 | 単発研修 | 国際交流 | |
| 2016年度 (平成28年度) | 精神分析研究セミナー(第22期) 5月より全10回 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター テーマ:精神科臨床・心理臨床から精神分析的臨床へ 司会 藤山直樹 相田信男 講師 討論者 テーマ 藤山直樹 相田信男 精神分析と精神科臨床・心理臨床: 生地新 そのギャップを考える 北山修 皆川英明 覆いをとること・つくること 妙木浩之 岩倉拓 心理面接から自由連想法へ:問うことの意味 衣笠隆幸 権成絃 精神分析的精神医学の臨床 鈴木智美 奥寺崇 症状形成にあずかるころへのアプローチ 松木邦裕 高野晶 精神分析は癒すのか、治すのか、解決するの 中村留貴子 脇谷順子 心理臨床の実際と精神分析的臨床 菊地孝則 池田政俊 精神医療から精神分析的臨床へ 福本修 白波瀬丈一郎 精神科臨床・心理臨床における 精神分析的臨床とは 岡野憲一郎 岡田暁宜 精神分析への期待 参加人数:82名 | | Jean-Michel Quinodoz先生講演会 5月14日(土) 日韓精神分析会談 Do-Un JEONG先生 Wang-ku. Rho先生 6月12日(日) Jan Abram先生による症例検討及び講演 9月18日(日)19日(月・祝) Clara Nemas先生講演会 10月30日(日) Martha Papadakis先生との臨床セミナー 11月12日(土) Ronald Britton先生の講演と臨床セミナー 11月13日(日) | 理事長 藤山直樹 常務理事 島村三重子 理事 相田信男 福本修 白波瀬丈一郎 目黒克己 須田唯雄 菊地孝則 深津千賀子 松木邦裕 任期:2015年6月28日~2017年 選任後に到来する2回目の評議員会の終結まで 評議員 乾吉祐 辻洋一 岩崎徹也 中村留貴子 大野裕 土方健男 岡野憲一郎 福山勝 北山修 中村伸一 任期:2013年4月1日~2017年 選任後に到来する4回目の評議員会の終結まで 監事 高野晶 小池小百合 任期:2013年4月1日~2017年 選任後に到来する4回目の評議員会の終結まで 教育研修委員 藤山直樹 福本修 島村三重子 木部則雄 相田信男 脇谷順子 岡野憲一郎 奥寺崇 奥寺崇 中村伸一 北山修(7月31日付で退任) 十川幸司 白波瀬丈一郎 池田暁史 国際交流委員 福本修 奥寺崇 木部則雄 事務局長 大原真由美 財団を会場にして開催した主要な出来事 <ul style="list-style-type: none"> ●日本精神分析協会 育成セミナー 9月 ●日本精神分析協会東京大会 12月 ●インスティテュート東京支部例会 (4/2, 5/7, 7/2, 9/3, 10/1, 1/14, 2/4, 3/11) ●JPSアドバンスセミナー (5/15, 9/18, 1/15, 3/19) ●精神分析セミナー 5月~全24回 スーパービジョンコーナー ●対象関係論東京研究会 (8回) ●メンタライゼーション研究会 (11回) ●東大若手精神科医に対するグループSV (12回) ●力動フォーメーション研究会 (10回) ●児童青年精神分析的心理療法研究会 (6回) ●乳幼児観察セミナーグループ (29回) |
| 2016年 4月1日~ 2017年 3月31日 | 体験グループ・セミナー(第22期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:21名 グループ理論研究セミナー(第21期) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 鈴木純一 相田信男 参加人数:41名 力動的家族療法セミナー(第14期) 6月より全10回 於:財団研修室 講師 中村伸一 野末武義 岩井昌也 渡辺俊之 参加人数:11名 小寺臨床講読セミナー 4月より全12回 於:財団研修室 現代クライン派の系統的理解(第III期):4.精神分析の展開過程 講師 福本修 参加人数:19名 小寺臨床講読ワークショップ 4月より全12回 於:財団研修室 フロイトの系統的理解(第IV期):2.精神分析の完成期 (1910-1920) 講師 福本修 参加人数:27名 精神分析的な心理療法セミナー 4月より全10回 於:財団研修室 講師 中村留貴子 妙木浩之 深津千賀子 鈴木智美 藤山直樹 参加人数:10名 臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー(第4回) 5月より全10回 於:財団研修室 講師 白波瀬丈一郎 佐渡充洋 辻廣亨子 小林靖 松山公一 三柴丈典 三浦有紀 参加人数:8名 精神分析志塾(新規企画) 4月より全11回 於:財団研修室 講師 松木邦裕 参加人数:15名 子どもの心の発達を学ぶ-基本および現代的視点-(新規企画) 4/29、10/10、2017年2/11全3回 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 講師 脇谷順子 木部則雄 福本修 (症例発表:長谷川昌子 関谷真奈美 曾田陽子) 参加人数:64名 乳幼児観察セミナー(新規企画) 9/19、2017年3/20全2回 於:財団研修室 講師 木部則雄 脇谷順子 鈴木龍(症例発表:白井千代 星加志苑) 参加人数:29名 | | ・Jean-Michel Quinodoz先生講演会 5月14日(土) 於:財団研修室 講師 Jean-Michel Quinodoz 皆川英明 福本修 参加人数:35名 ・日韓精神分析会談 6月12日(日) 於:財団研修室 講師 Do-Un JEONG Wang-ku. Rho 皆川英明 古賀靖彦 参加人数:25名 ・精神分析 医学生・研修医セミナー 7月17日(日)18日(月・祝) 於:財団研修室 講師 菊地孝則 北山修 白波瀬丈一郎 高野晶 藤山直樹 庄司剛 参加人数:14名 ・関係性精神療法セミナー(第6回) 逆転移 7月24日(日) 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 講師 岡野憲一郎 富樫公一 吾妻壮 参加人数:28名 ・学際的ワークショップ(新規企画) 『精神分析の知のリンクにむけて』 9月19日(日) 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 講師 藤山直樹 十川幸司 佐藤淳二 妙木浩之 立木康介 参加人数:68名 ・Jan Abram先生による症例検討及び講演 9月18日(日)症例検討 於:財団研修室 講師 Jan Abram 福本修 奥寺崇 加茂聡子 参加人数:32名 9月19日(月・祝)講演 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 講師 Jan Abram 福本修 奥寺崇 参加人数:26名 ・Clara Nemas先生講演会 「羨望と創造性」 10月30日(日) 於:財団研修室 講師 Clara Nemas 北山修 福本修 脇谷順子 参加人数:24名 ・Martha Papadakis先生との臨床セミナー 11月12日(土) 於:財団研修室 講師 Martha Papadakis 福本修 浅野美穂子 参加人数:29名 ・Ronald Britton先生の講演と臨床セミナー 11月13日(日) 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 講師 Ronald Britton 福本修 平井正三 小波蔵かおる 参加人数:56名 ・「タヴィストックセミナー」(第7回) <i>タヴィストック・クリニックの原点と発展:マサ・パリスwith山上千鶴子</i> 12月23日(金・祝) 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 講師 山上千鶴子 木部則雄 福本修 小倉清 平井正三 参加人数:67名 ・心理臨床家のための力動的精神病理学入門1(新規企画) 2017年3月20日(月) 於:TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 講師 白波瀬丈一郎 渡邊衡一郎 吉村聡 妙木浩之 加茂聡子 参加人数:52名 | 財団ホームページの更新と充実 担当:福本修 出版広報事業 |

自我心理学臨床セミナー（新規企画）

9/25より全7回 於：財団研修室

講師 妙木浩之 深津千賀子 乾吉佑 中村留貴子

参加人数：22名